

参考付表

国民経済及び森林資源

1 林業関係基本指標

項目	単位	S55年 (1980)	H2 (90)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
① 国内総生産	億円	2,428,387	4,427,810	4,951,655	5,029,899	4,983,284	5,017,344	5,073,648	5,155,204	5,051,119
林業	//	8,260	6,612	6,958	8,865	5,265	4,464	4,775	4,973	4,344
林業/総生産	%	0.34	0.15	0.14	0.18	0.11	0.09	0.09	0.10	0.09
② 就業者総数	万人	5,536	6,249	6,457	6,446	6,329	6,356	6,382	6,412	6,385
林業	//	19	11	9	7	6	6	6	5	6
林業/総就業	%	0.34	0.18	0.14	0.11	0.09	0.09	0.09	0.08	0.09
③ 国土面積	万ha	3,777	3,777	3,778	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779	3,779
④ 森林面積	//	2,528	2,521	2,515	2,515	2,512	2,512	2,512	2,510	2,510
森林/国土	%	67.8	67.6	67.5	67.5	67.4	67.4	67.4	67.3	67.3
⑤ 保安林面積	万ha	732	830	857	893	1,133	1,165	1,176	1,188	1,191
保安林/森林	%	29.0	32.9	34.1	35.5	45.1	46.4	46.8	47.3	47.5
⑥ 森林蓄積	億m ³	25	31	35	35	40	40	40	44	44
⑦ 木材(用材)需要(供給)量	億m ³	10,896	11,116	11,192	9,926	8,980	8,586	8,679	8,236	7,797
国内生産量	//	3,456	2,937	2,292	1,802	1,656	1,718	1,762	1,863	1,873
輸入量	//	7,441	8,179	8,901	8,124	7,325	6,868	6,917	6,374	5,923
木材(用材)自給率	%	31.7	26.4	20.5	18.2	18.4	20.0	20.3	22.6	24.0
⑧ 新設住宅着工戸数	万戸	127	171	147	123	119	124	129	106	109
木造率	%	59.2	42.6	45.3	45.2	45.5	43.9	43.3	47.6	47.3

資料：①内閣府「国民経済計算」、②総務省「労働力調査」、③国土交通省「全国都道府県市区町村別面積調」、④⑤⑥林野庁業務資料、⑦林野庁「木材需給表」、⑧国土交通省「建築着工統計」

注1：国土面積には北方四島の面積が含まれる。森林面積には北方四島の面積は含めていない。

注2：森林/国土の割合における国土面積には、北方四島を含めていない。

注3：保安林面積は、実面積の数値。

注4：木材(用材)需要(供給)量、国内生産量及び輸入量は、丸太換算の数値。

2 経済活動別国内総生産(名目)

(単位：十億円)

項目	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
国内総生産	442,781	495,166	502,990	498,328	501,734	507,365	515,520	505,112
産	416,272	463,956	468,062	460,259	465,356	467,176	471,953	456,846
農林水産業	10,916	9,346	8,896	8,053	7,628	7,437	7,326	7,372
林業	661	696	887	527	446	478	497	434
鉱業	1,121	861	627	481	488	435	348	408
製造業	117,316	114,669	111,439	105,410	107,877	107,766	109,090	100,279
パルプ・紙	3,365	3,399	3,237	2,822	2,922	2,564	2,435	2,408
製材・木製品	1,516	1,469	1,240	993	960	890	836	768
建設業	43,439	40,850	37,130	32,954	31,861	31,849	31,444	30,924
電気・ガス・水道業	11,232	13,329	13,576	12,727	12,051	11,565	10,280	9,008
卸売・小売業	58,324	75,788	70,661	67,734	69,065	68,234	69,906	69,617
金融・保険業	30,827	31,964	30,445	33,648	34,940	35,207	34,317	29,395
不動産業	43,051	53,757	57,864	59,841	60,100	60,465	61,292	61,806
運輸・通信業	29,090	35,264	34,821	34,277	33,612	33,524	34,130	34,001
サービス業	70,955	88,129	102,604	105,135	107,733	110,695	113,822	114,036
その他	26,509	31,209	34,928	38,069	36,379	40,189	43,567	48,266

資料：内閣府「国民経済計算」

注：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

3 林業産出額

(単位：千万円)

項目	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
林業産出額	97,714	76,055	53,110	43,461	41,677	43,216	44,144	44,487
木材生産	72,814	52,661	32,213	22,048	21,023	21,708	22,558	21,330
針葉樹	55,250	43,676	26,533	18,776	17,741	18,389	19,520	18,039
す	21,502	18,739	12,378	9,250	8,753	9,259	10,277	9,412
広葉樹	16,870	8,602	5,472	3,158	3,171	3,219	2,938	3,205
薪炭生産	826	793	616	649	609	560	548	505
栽培きのご類生産	22,943	21,832	19,689	20,364	19,850	20,705	20,830	22,398
林野副産物採取	1,132	770	592	400	196	243	208	225
生産林業所得	70,248	53,291	35,187	26,394	24,560	24,878	24,639	24,161

資料：農林水産省「生産林業所得統計報告書」(平成2(1990)、7(1995)、12(2000)、16(2004)～18(2006)年)、「平成19年林業産出額」(平成19(2007)年)、「平成20年林業産出額」(平成20(2008)年)

注：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。



4 我が国の森林資源の現況

(単位：千ha、万㎡)

区分	総数		立木地				無立木地		竹林面積	
			人工林		天然林		面積	蓄積		
	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積				
総数	25,097	443,174	10,347	265,131	13,383	177,939	1,208	104	159	
国有林	総数	7,686	107,827	2,364	42,361	4,691	65,381	631	86	0
	所林	7,623	107,090	2,355	42,082	4,646	64,923	622	86	0
	野	7,513	105,190	2,267	40,202	4,643	64,903	603	85	0
	官行造林	101	1,901	88	1,880	2	20	10	0	0
	管庁	9	0	0	0	0	0	9	0	0
	対象外森林	63	737	9	280	45	457	9	0	0
民有林	総数	17,411	335,347	7,983	222,770	8,693	112,559	577	18	159
	公有林	2,830	48,433	1,247	29,462	1,449	18,963	128	8	6
	都道府県	1,188	19,035	464	10,066	667	8,968	56	1	1
	市町村・財産区	1,642	29,398	783	19,396	782	9,995	72	7	5
	私有林	14,535	286,351	6,724	193,060	7,217	93,281	445	10	150
	対象外森林	46	563	12	248	27	315	4	0	3

資料：林野庁業務資料

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値である。

注2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。

注3：更新困難地は天然林を含む。

注4：対象外森林とは、森林法第5条に基づく地域森林計画及び同法第7条の2に基づく国有林の地域別の森林計画の対象となっている森林以外の森林をいう。

注5：平成19(2007)年3月31日現在の数値である。

注6：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

5 民有林・国有林別の重視すべき機能に応じた森林の3区分の面積

(単位：千ha)

区分	小計	育成単層林	育成複層林	天然生林	その他	計	割合
		水土保全林	7,570	769	8,498	668	17,506
森林と人と共生林	民有林	5,693	347	5,886	478	12,405	50%
	国有林	1,877	422	2,612	190	5,101	20%
資源の循環利用林	小計	403	79	2,230	495	3,207	13%
	民有林	274	19	736	92	1,121	4%
合計	国有林	129	60	1,494	403	2,086	8%
	小計	2,318	106	1,664	179	4,267	17%
合計	民有林	1,996	91	1,594	159	3,840	15%
	国有林	321	15	70	20	427	2%
合計		10,291	954	12,393	1,342	24,979	100%

資料：林野庁業務資料

注1：森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画対象森林の面積である。

注2：その他は、竹林及び無立木地である。

注3：割合は、合計の値に対する割合である。

注4：平成19(2007)年3月31日現在の数値である。

注5：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

6 都道府県別森林面積

(単位：千ha)

都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林	都道府県	総数	人工林	天然林	無立木地	竹林
全国	25,097	10,347	13,383	1,208	159	三重	373	231	133	7	2
北海道	5,538	1,505	3,704	329	0	滋賀	205	84	113	6	1
青森	634	274	340	20	0	京都	343	131	201	6	6
岩手	1,174	502	616	56	0	大阪	58	28	27	2	2
宮城	418	201	202	12	2	兵庫	562	240	306	12	3
秋田	839	410	407	22	0	奈良	284	173	107	3	1
山形	667	184	440	43	0	和歌山	364	221	137	4	2
福島	972	343	579	49	1	鳥取	258	139	110	5	3
茨城	189	115	64	7	2	島根	526	207	297	11	10
栃木	353	159	180	13	1	岡山	484	198	270	10	5
群馬	423	181	215	26	1	広島	613	199	399	13	2
埼玉	122	60	60	1	0	山口	439	197	224	5	12
千葉	162	63	76	17	6	徳島	312	192	112	7	2
東京	80	35	39	5	0	香川	88	27	54	3	3
神奈川	95	37	54	4	1	愛媛	401	247	140	11	4
新潟	862	164	563	133	2	高知	599	392	196	7	5
富山	284	53	170	61	1	福岡	222	143	58	10	12
石川	286	102	165	18	2	佐賀	111	74	27	7	3
福井	312	125	177	8	1	長崎	243	105	126	9	3
山梨	348	153	174	20	1	熊本	466	282	150	23	11
長野	1,060	446	545	67	2	大分	453	239	174	26	13
岐阜	866	387	436	42	1	宮崎	589	357	214	13	5
静岡	502	284	189	26	4	鹿児島	590	302	257	15	16
愛知	220	141	72	3	3	沖縄	105	12	83	10	0

資料：林野庁業務資料

注1：森林法第2条第1項に規定する森林の数値である。

注2：「無立木地」は、伐採跡地、未立木地である。

注3：平成19(2007)年3月31日現在の数値である。

注4：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

7 人工造林面積

(単位：ha)

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
総	数	70,769	55,569	35,908	28,466	28,576	28,515	33,784	31,917
民 有 林	計	59,030	48,650	31,316	24,964	25,584	23,872	25,836	23,400
	私	30,320	25,259	15,292	13,976	14,325	13,985	15,310	13,941
	公	28,710	23,391	16,024	10,988	11,259	9,887	10,526	9,459
	森林整備法人等	9,416	5,757	2,193	616	464	293	366	371
	旧緑資源機構	7,032	6,854	6,643	4,602	5,202	4,428	4,723	4,391
	市町村	6,251	4,515	2,832	2,051	1,950	1,825	1,791	1,668
	都道府県	6,011	6,265	4,356	3,719	3,643	3,341	3,646	3,029
国	有林	11,739	6,919	4,592	3,502	2,992	4,643	7,948	8,517

資料：林野庁業務資料

注1：国有林には、林野庁所管以外の国有林は含まない。

注2：森林整備法人等とは、森林整備法人及び林業公社である。

注3：人工造林面積は、治山事業や自力等によるものを含む面積であり、育成複層林施業（人工林）における樹下植栽等の面積も含まれている。

注4：独立行政法人緑資源機構は、平成20（2008）年4月1日付けで解散し、その事業の一部を独立行政法人森林総合研究所が継承している。

8 樹種別人工造林面積

(単位：ha)

	総 数	針 葉 樹						広 葉 樹
		スギ	ヒノキ	マツ類	カラマツ	その他		
H 2 (1990)年	(59,030)	(18,129)	(24,646)	(784)	(3,931)	(6,905)	(4,635)	
	55,400	17,499	23,176	751	3,895	5,744	4,335	
7 (95)	(48,650)	(13,660)	(22,332)	(219)	(2,739)	(5,544)	(4,156)	
	45,241	13,196	20,908	199	2,677	4,577	3,684	
12 (2000)	(31,316)	(8,223)	(11,574)	(233)	(2,524)	(4,954)	(3,808)	
	28,480	7,967	10,745	223	2,493	4,014	3,038	
16 (04)	(24,964)	(5,203)	(6,957)	(211)	(3,281)	(5,561)	(3,751)	
	21,270	4,884	6,017	190	3,162	4,256	2,761	
17 (05)	(25,584)	(5,216)	(7,096)	(226)	(3,534)	(5,728)	(3,784)	
	22,498	5,011	6,307	183	3,423	4,611	2,963	
18 (06)	(23,872)	(4,845)	(5,998)	(256)	(3,521)	(5,144)	(4,108)	
	21,048	4,579	5,225	229	3,340	4,327	3,348	
19 (07)	(25,836)	(5,546)	(6,205)	(265)	(3,788)	(5,647)	(4,385)	
	23,064	5,289	5,460	252	3,642	4,715	3,706	
20 (08)	(23,400)	(5,171)	(4,726)	(217)	(4,414)	(5,172)	(3,699)	
	20,865	4,904	4,079	175	4,260	4,380	3,067	

資料：林野庁業務資料

注1：民有林の樹種別人工造林面積であり、国有林は含まない。

注2：上段（ ）書きは、育成複層林施業における樹下植栽等を含む面積である。

9 人工林の齢級別面積

(単位：千ha)

	1 齢級	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
S60年 (1985)	604	895	1,263	1,691	1,762	1,569	947	337	240	205	178	137	111	83	148				
H元 (89)	436	700	943	1,351	1,691	1,746	1,413	777	270	224	183	151	118	93	79	52	62		
6 (94)	278	421	699	937	1,336	1,686	1,719	1,388	735	262	213	172	139	112	86	67	105		
13 (2001)	131	226	350	589	874	1,149	1,599	1,677	1,522	946	353	204	171	144	112	89	62	52	70
18 (06)	88	168	227	352	593	873	1,143	1,582	1,649	1,500	918	345	200	168	141	106	90	62	120

資料：林野庁業務資料

注1：数値は各年度末のものである。

注2：昭和60（1985）年は15齢級を、平成元（1989）年、6（1994）年は17齢級を、平成13（2001）年、18（2006）年は19齢級を最大齢級としており、それ以上の齢級は最大齢級にまとめている。

注3：森林法第5条及び第7条の2に基づく森林計画対象森林の「立木地」の面積である。



森林の整備及び保全

10 間伐実績及び間伐材の利用状況

	間伐実績 (千ha)			間伐材利用量 (万m ³)					国有林
	計	民有林	国有林	計	民有林			国有林	
H19 (2007) 年度	521	395	126	537	344	214	47	83	193
20 (08)	548	434	114	566	368	226	39	103	198

資料：林野庁業務資料
 注1：間伐実績は、森林吸収源対策の実績として把握した数値である。
 注2：間伐材利用量は丸太材積に換算した量(推計値)である。
 注3：製材とは、建築材、梱包材等である。
 注4：丸太とは、足場丸太、支柱等である。
 注5：原材料とは、木材チップ、おがくず等である。

(参考)

		H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	14 (02)	15 (03)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	
民 有 林	間伐面積 (千ha)	277	215	304	314	312	277	281	282	
	間伐材利用量 (万m ³)	計	234	183	274	279	283	284	284	324
		製材	170	125	195	190	185	184	181	196
		丸太	37	34	41	44	50	45	41	48
	原材料	26	24	38	45	48	55	62	80	

11 林道開設(新設)量

(単位：km)

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
民 有 林 林 道	一般林道整備交付金	1,282	806	714	467	387	322	269	220
	農林緑地資源機構	—	—	—	—	15	94	100	89
	旧緑地資源機構	19	4	3	1	1	1	0	0
	山村振興	59	55	39	20	13	17	8	0
	その他	279	109	54	13	6	0	0	0
	融資金	24	5	8	4	1	2	0	1
	林道	19	10	14	4	1	0	0	0
	小計	1,682	989	832	509	425	436	379	310
	県単独補助	201	292	199	103	76	73	49	42
	合計	1,883	1,281	1,031	611	501	509	428	352
融資金	2	2	0	0	0	0	0	0	
林道	18	48	57	24	12	16	8	5	
合計	1,903	1,331	1,088	635	513	525	435	357	
国有林林道	610	230	99	56	138	130	123	109	
総計	2,513	1,561	1,187	691	651	655	558	466	
林道舗装実績	1,560	1,667	1,340	695	567	528	502	421	

資料：林野庁業務資料
 注1：各年度末の新設延長である。
 注2：四捨五入により、計が一致しない場合がある。

12 保安林の種類別面積

(単位：千ha)

区分	合計	国有林	民有林
水源かん養保安林	9,001	5,656	3,345
土砂流出防備保安林	2,509	1,069	1,440
土砂崩壊防備保安林	58	19	38
飛砂防備保安林	16	4	12
防風保安林	57	23	34
水害防備保安林	1	0	1
潮害防備保安林	14	5	8
干害防備保安林	122	50	73
防雪保安林	0	0	0
防霧保安林	62	9	53
なだれ防止保安林	19	5	14
落石防止保安林	2	0	2
防火保安林	0	0	0
魚つき保安林	58	8	49
航行目標保安林	1	1	0
保健保安林	698	355	343
風致保安林	28	13	15
合計	12,646	7,218	5,428
(実面積)	11,915	6,865	5,049

資料：林野庁業務資料
 注1：平成21(2009)年3月31日現在の数値である。
 注2：同一箇所でも2種類以上の保安林に指定されている場合、それぞれの保安林に計上している。
 注3：国有林には、林野庁所管以外の国有林を含む。
 注4：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

13 気象災害、林野火災

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
気象災害	被害面積 (ha)	17,348	5,874	14,645	48,144	2,516	17,565	6,376	1,828
	風害	4,522	1,142	3,402	44,492	364	14,758	2,680	49
	水害	1,146	389	2,633	812	526	183	283	271
	雪害	4,272	1,757	1,863	2,394	920	2,451	2,400	494
	干害	6,969	2,234	6,161	133	656	104	800	216
	凍害	438	352	585	250	48	66	212	799
	潮・雹害	0	0	-	63	3	2	1	-
林野火災	出火件数 (件)	2,858	4,072	2,805	2,592	2,215	1,576	2,157	1,891
	焼損面積 (ha)	1,333	2,016	1,455	1,568	1,116	829	717	839
	被害額 (億円)	5	7	7	8	9	1	2	6

資料：林野庁業務資料、消防庁業務統計

注1：気象災害は、私・公有林の被害である。

注2：林野火災は、私・公、国有林（林野庁所管外のものも含む。）の被害である。

14 森林国営保険事業実績

	年度末契約保有高			損害補填補償額			
	件数 (件)	面積 (千ha)	責任保険金額 (百万円)	件数 (件)	面積 (ha)	損害額 (百万円)	支払額 (百万円)
H 2 (1990)年度	102,107	1,078	947,544	4,645	1,076	800	590
7 (95)	121,028	1,044	917,143	9,024	2,984	2,000	1,681
12 (2000)	137,479	1,203	863,007	7,884	2,502	3,587	1,374
16 (04)	202,809	1,367	1,540,609	3,709	1,060	1,647	888
17 (05)	184,670	1,296	1,345,535	7,543	2,161	3,622	2,246
18 (06)	173,911	1,223	1,219,051	12,774	4,235	7,847	4,032
19 (07)	164,549	1,165	1,152,700	11,165	3,768	7,941	3,869
20 (08)	154,959	1,109	1,098,868	4,755	1,511	3,019	1,447

資料：林野庁業務資料

15 野生動物による森林被害

(単位：千ha)

	合計	サル	ノネズミ	ノウサギ	カモシカ	シカ	イノシシ	クマ
H 2 (1990)年度	7.5	0.0	1.0	1.7	2.0	2.4	0.2	0.2
7 (95)	8.6	0.2	0.5	1.2	1.8	4.1	0.5	0.3
12 (2000)	8.2	0.7	0.3	0.6	1.0	4.6	0.5	0.6
16 (04)	7.4	0.1	0.8	0.4	1.0	3.9	0.7	0.7
17 (05)	5.8	0.1	0.3	0.3	0.8	3.5	0.4	0.4
18 (06)	5.2	0.1	0.2	0.3	0.8	3.0	0.3	0.5
19 (07)	6.0	0.1	0.3	0.2	0.6	3.5	0.2	1.1
20 (08)	6.8	0.0	1.2	0.2	0.5	3.7	0.2	0.9

資料：林野庁業務資料

注1：国有林（林野庁所管）、民有林の合計である。

注2：林地内の被害である。

16 松くい虫被害材積

(単位：千m³)

	S52年度 (1977)	54 (79)	57 (82)	62 (87)	H4 (92)	9 (97)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
被害材積	809	2,433	1,467	1,140	1,126	811	733	689	644	619	626

資料：林野庁業務資料

注：国有林（林野庁所管）、民有林の合計である。

17 ナラ枯れ被害面積

(単位：千ha)

	H11年度 (1999)	12 (2000)	13 (01)	14 (02)	15 (03)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
被害面積	0.4	0.4	0.4	1.0	1.0	1.2	1.9	0.8	1.2	1.4

資料：林野庁業務資料

注：国有林（林野庁所管）、民有林の合計である。



18 森林・林業に関する専門技術者

(単位：人)

	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
林業技士	6,069	7,168	8,024	9,322	9,665	9,872	10,504	10,944
森林インストラクター	—	425	1,132	2,261	2,417	2,573	2,709	2,818
樹木医	—	389	778	1,332	1,451	1,571	1,689	1,801

資料：林野庁業務資料、林業技士は社団法人日本森林技術協会調べ

注1：林業技士：森林土木等の技術的業務に関する専門知識の実践。平成21(2009)年度は、平成22(2010)年1月末現在の数値である。

注2：森林インストラクター：一般の人々に、森林や林業に関する知識の提供、森林の案内、森林内の野外活動の指導等。

平成21(2009)年度は、平成22(2010)年2月末現在の数値である。

注3：樹木医：「ふるさとのシンボル」として親しまれている巨樹・古木林等の保護や樹勢回復・治療等。平成21(2009)年度は、平成21(2009)年12月末現在の数値である。

19 林業普及指導職員等の数

(単位：人)

	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
林業専門技術員(SP)	388	381	336	303	—	—	—	—	—
林業改良指導員(AG)	2,117	1,997	1,862	1,708	—	—	—	—	—
林業普及指導員	—	—	—	—	1,811	1,638	1,539	1,434	1,425
計	2,505	2,378	2,198	2,011	1,811	1,638	1,539	1,434	1,425

資料：林野庁業務資料

注：平成17(2005)年度の制度改正により、林業専門技術員と林業改良指導員の2つの資格を「林業普及指導員」に一元化している。

20 森林・林業関係の教育機関数

区分	学校数
森林・林業関係学科(科目)をもつ 高等学校	72
森林・林業関係学科(科目)をもつ 短期大学	1
森林・林業関係学科(科目)をもつ 大学(うち国立大学)	27 (23)
森林・林業関係学科(科目)をもつ 都道府県立農林大学校	6

資料：林野庁業務資料

注：平成21(2009)年4月現在の数値である。

林業

21 所有形態別林野面積

	H17(2005)年	
	所有林野面積(ha)	比率(%)
総数	17,514,627	100.0
私有	13,636,315	77.9
公有	3,335,905	19.0
都道府県	1,218,262	7.0
森林整備法人	467,909	2.7
市区町村	1,358,887	7.8
財産区	290,847	1.7
旧緑資源機構	542,407	3.1

資料：農林水産省「2005年農林業センサス」

注1：数値には、東京都三宅村は含まない。

注2：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

注3：独立行政法人緑資源機構は、平成20(2008)年4月1日付で解散し、その事業の一部を独立行政法人森林総合研究所が継承している。

22 林業経営体数及び保有山林面積

(単位：経営体、ha)

	合計		3ha未満		3~5ha		5~20ha		20~50ha		50~100ha		100ha以上		
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	
総数	200,224	5,788,677	(1,961)	3,036	1,365	64,342	231,763	98,326	893,233	22,929	651,229	6,347	414,635	5,244	3,596,453
法人経営	8,500	1,516,938	1,314	221	883	3,318	2,444	25,238	1,393	43,933	935	65,547	1,531	1,378,682	
農事組合法人	159	8,203	—	—	11	37	61	642	36	1,127	31	2,292	20	4,104	
会社	3,238	822,994	837	115	288	1,061	846	8,550	422	112,856	277	18,801	568	781,610	
各種団体	3,363	406,995	449	102	222	834	807	8,933	677	21,803	495	34,818	713	340,504	
農協	130	31,756	—	—	5	17	22	225	27	883	15	1,041	61	29,591	
森林組合	2,326	263,463	419	101	85	324	449	5,244	472	15,220	386	27,123	515	215,452	
その他の各種団体	907	111,776	30	2	132	493	336	3,465	178	5,699	94	6,655	137	95,462	
その他の法人	1,740	278,746	28	3	362	1,385	730	7,112	258	8,147	132	9,636	230	252,463	
法人でない経営	189,466	2,652,289	1,719	1,144	63,361	228,068	95,512	863,785	21,197	596,312	5,100	326,861	2,577	636,120	
個人経営体	177,368	2,276,615	1,100	1,026	60,592	217,652	90,136	811,115	19,352	539,871	4,265	270,541	1,923	436,411	
地方公共団体・財産区	2,258	1,619,450	3	—	98	378	370	4,210	339	10,984	312	22,227	1,136	1,581,651	

資料：農林水産省「2005年農林業センサス」

注1：()は保有山林のない経営体数で内数。

注2：林業経営体とは、保有山林3ha以上で、かつ2005年を計画期間に含む森林施業計画を作成している又は過去5年間に林業作業を行ったもの、もしくは委託を受けて育林・素材生産(過去1年間200㎡以上)を行うもの並びに立木買いにより素材生産したものをいう。

23 林業経営体（林家）の林業経営

項 目	単位	H16年 (2004) 平均	17 (05) 平均	18 (06) 平均	保有山林規模別 (ha)				19 (07) 平均	20 (08) 平均
					20-50	50-100	100-500	500-		
林業粗収益	千円	2,497	2,396	2,603	1,499	1,761	3,760	67,719	1,904	1,784
立木販売収入	//	300	266	409	146	322	925	1,067	275	206
素材生産収入	//	1,786	1,667	1,635	856	1,121	2,579	38,347	1,246	1,041
その他	//	412	464	559	497	319	257	28,305	383	537
林業経営費	千円	2,081	2,109	2,125	1,028	1,383	3,035	67,968	1,613 (1,615)	1,681
雇用労賃	//	379	339	345	74	136	514	20,012	270	300
原木費	//	230	248	308	119	180	30	25,068	125 (128)	130
機械修繕費	//	201	208	209	150	94	162	11,673	117 (115)	169
賃借料・料金	//	202	195	194	139	158	286	1,986	174	150
請負わせ料金	//	613	707	626	222	474	1,479	916	539	557
その他	//	455	409	443	325	342	564	8,315	388	375
林業所得	千円	417	287	478	471	378	725	- 249	291 (289)	103
投下労働量	時間	943	924	632	646	418	803	8,972	571	536
家族	//	496	426	447	594	335	465	1,320	422	380
雇用労働	//	202	183	185	52	83	338	7,652	149	156
請負わせ作業	//	245	315	-	-	-	-	-	-	-

資料：農林水産省「林業経営統計調査報告」（平成16（2004）～18（2006）年度）、「平成19年度林家の林業経営収支」（平成19（2007）年度）、「平成20年度林業経営体の林業経営収支」（平成20（2008）年度）

注1：保有山林面積50ha以上で林木に係る施業を行っている林家、又は保有山林面積が20ha以上50ha未満で、過去1年間の林木に係る施業労働日数が30日以上
の林業経営体（林家）1経営体（1戸）当たりの平均値である。

注2：林業粗収益＝現金収入＋林産物の林業外仕向額＋林産物の在庫増加（減少）額

注3：林業粗収益のその他とは、特用林産物収入や受託収入等である。

注4：林業経営費＝現金支出＋減価償却費＋処分差損益＋生産資材の在庫減少（増加）額

注5：雇用労賃には、労働災害保険を含む。

注6：林業経営費のその他とは、種苗費、肥料費、薬剤費、諸材料費、器具費、建物維持費、企画管理費、負債利子、租税公課諸負担等である。

注7：林業所得＝林業粗収益－林業経営費

注8：総額と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

注9：平成19（2007）年度・20（2008）年度の結果のうち、減価償却費については、平成19（2007）年度税制改正における減価償却計算の見直しを踏まえ以下の
とおり算出した。

(1) 平成19（2007）年3月31日以前に取得した資産

ア 償却中の資産：1か年の減価償却費＝（取得価額－残存価額）÷耐用年数

イ 償却済みの資産：1か年の減価償却費＝（取得価額－1円（備忘価額））÷5年

(2) 平成19（2007）年4月1日以降に取得した資産

1か年の減価償却費＝（取得価額－1円（備忘価額））÷耐用年数

注10：また、（ ）内の数値は、調査結果の接続を図る観点から、税制改正前の定額法による減価償却計算により算出（概数）した。

24 林業機械の普及台数

（単位：台）

		H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	対前年増減 率(%)
		高性能林業機械	フェラーパンチャ	35	51	42	27	25	33	
	ハーベスタ	19	201	379	433	442	502	558	633	13.4
	プロセッサ	51	509	854	949	1,002	1,042	1,086	1,144	5.3
	スキッダ	21	102	164	157	163	152	151	138	▲ 8.6
	フォワーダ	31	236	509	652	722	828	914	990	8.3
	タワーヤード	10	144	190	182	174	175	169	166	▲ 1.8
	スイングヤード	-	-	134	284	340	419	481	574	19.3
	その他の高性能林業機械	-	-	13	42	41	58	67	97	44.8
	小計	167	1,243	2,285	2,726	2,909	3,209	3,474	3,802	9.4
在来型林業機械	大型集材機	10,313	9,471	8,013	6,344	6,009	5,794	5,557	5,434	▲ 2.2
	小型集材機	10,065	8,907	7,525	5,802	5,460	5,240	4,871	4,713	▲ 3.2
	チェーンソー	362,492	340,672	300,300	260,240	245,998	233,064	228,069	222,731	▲ 2.3
	刈払機	369,677	356,669	350,765	311,113	298,718	286,295	272,909	260,564	▲ 4.5
	トラクタ	4,487	3,956	3,290	2,667	2,630	2,593	2,353	2,122	▲ 9.8
	運材車	25,676	25,303	22,238	19,167	18,083	15,765	15,290	14,840	▲ 2.9
	モノレール	1,836	1,551	981	891	859	907	821	817	▲ 0.5
	動力枝打機	9,043	12,133	12,695	10,578	10,077	9,440	8,803	8,475	▲ 3.7
	自走式搬器	1,235	1,752	1,991	1,791	1,757	1,710	1,719	1,635	▲ 4.9

資料：林野庁業務資料

注1：国有林野事業で所有する林業機械を除く。

注2：平成7（1995）年度以前のタワーヤードの台数は、スイングヤード（油圧ショベルをベースマシンに集材用ウインチを搭載した機械）を含む。

注3：平成12（2000）年度より、ハイブリッド機械、フェラースキッダ、刈刈機等従来の高性能林業機械以外の高性能林業機械を「その他の高性能林業機械」として項目に追加した。



25 総人口及び就業者数

(単位：万人)

	総人口	就業者数				うち雇用量				
		全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	全産業 総数	農林業	うち 林業	非農林業	うち 製造業
H 2 (1990)年	12,354	6,249	411	11	5,839	4,835	29	7	4,806	1,306
7 (95)	12,520	6,457	340	9	6,116	5,263	34	7	5,229	1,308
12 (2000)	12,688	6,446	297	7	6,150	5,356	34	4	5,322	1,205
16 (04)	12,767	6,329	264	6	6,064	5,355	36	4	5,319	1,066
17 (05)	12,766	6,356	259	6	6,097	5,393	36	4	5,356	1,059
18 (06)	12,761	6,382	250	6	6,132	5,472	42	4	5,430	1,082
19 (07)	12,776	6,412	251	5	6,161	5,523	45	4	5,478	1,091
20 (08)	12,771	6,385	245	6	6,140	5,524	46	4	5,478	1,077

資料：総務省「労働力調査年報」

注1：日本標準産業分類の改訂に伴い、平成15(2003)年以降の製造業の結果は14(2002)年以前の結果と時系列接続していない。

注2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しない。

26 産業別、年齢階層別就業者数

(単位：万人)

	総数	15歳～ 19歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳 以上
全産業	6,385	92	459	616	701	746	681	649	639	741	507	553
農 業	240	0	3	6	8	8	10	14	19	30	29	112
林 業	6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
鉱 業	3	-	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
建設業	537	4	23	43	62	68	54	51	59	77	55	41
製造業	1,144	14	75	114	129	147	135	120	113	140	85	74
その他	4,455	74	358	453	502	523	482	464	446	493	337	325

資料：総務省「労働力調査」(平成20(2008)年)

注1：平成20(2008)年の平均値である。

注2：表章単位未満の位で四捨五入してある。また、総数に分類不能又は不詳の数を含むため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

27 林業への新規就業者の就業先

(単位：人)

	H7年度 (1995)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
総 数	1,555	2,314	3,538	2,843	2,421	3,053	3,353
民間事業体	433	864	1,204	1,149	1,176	1,610	1,758
森林組合	1,122	1,450	2,334	1,694	1,245	1,443	1,595

資料：林野庁業務資料

28 林業労働者の賃金

(単位：円/日)

	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
造 林	8,812	11,082	12,082	11,708	11,795	11,834	11,828	11,743
伐 出	10,405	12,748	13,648	13,046	13,119	12,963	13,016	12,947

資料：全国農業会議所「農作業賃金・農業労働に関する調査結果」

注：全国農業会議所が作成した調査票に基づき、都道府県農業会議の指導の下、市町村農業委員会が行った調査であり、農外諸賃金のうち都道府県別平均の造林(新植、撫育作業)、伐出を抜粋したものである。

29 労働災害の発生率

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
死傷年千人率	全 産 業	4.6	3.5	2.8	2.5	2.4	2.4	2.3	2.3
	林 業	30.2	31.5	28.7	27.7	26.8	26.3	29.5	29.9
	木材・木製品製造業	17.4	13.4	11.6	10.1	9.9	9.3	9.2	8.3
	建設業	11.3	7.7	6.3	6.0	5.8	5.7	5.6	5.3
	製造業	5.5	4.0	3.6	3.4	3.3	3.2	3.2	3.0
	鉱 業	22.6	17.2	17.6	18.3	18.8	16.9	16.3	14.0

資料：林業労働災害防止協会「林業労働災害防止年報」

注：死傷年千人率とは、1,000人当たり1年間に発生する労働災害による死傷者数(休業4日以上)を表したものの、(死傷年千人率=1年間の死傷者数(休業4日以上)÷1年間の平均労働者数×1,000)

30 森林組合の事業活動等

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	15 (03)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	対前年増減 率 (%)
森林組合数(A)		1,642	1,455	1,174	970	905	846	764	736	▲ 3.7
組合員数(千人)		1,751	1,718	1,669	1,635	1,625	1,618	1,601	1,594	▲ 0.5
1組合当たり払込済出資金(千円)		21,912	29,765	42,133	52,727	57,218	61,261	68,503	71,739	4.7
主要 事業量	新植面積(ha)	45,417	35,183	25,648	20,304	19,335	18,818	17,341	18,560	7.0
	丸太生産量(千m ³)	3,282	3,088	2,835	2,506	2,681	2,818	3,004	3,287	9.4
作業班	設置組合数(B)	1,284	1,148	939	825	784	737	-	-	-
	(B) ÷ (A) (%)	78	79	80	85	87	87	-	-	-

資料：林野庁「森林組合統計」

31 森林組合の主要事業別の取扱高

(単位：百万円)

	販売・林産	加工	購買	森林造成	その他	合計
H 2 (1990)年度	124,173	35,430	21,843	143,102	35,836	360,385
7 (95)	102,287	40,709	20,956	186,772	38,246	388,970
12 (2000)	77,555	40,441	16,434	167,376	40,325	342,131
15 (03)	61,746	37,098	13,732	143,381	45,115	301,072
16 (04)	60,357	36,587	13,235	124,644	43,414	278,237
17 (05)	57,190	34,290	12,221	111,287	40,685	255,673
18 (06)	63,546	33,981	11,955	106,499	38,886	254,866
19 (07)	67,063	34,680	11,619	115,207	37,092	265,660

資料：林野庁「森林組合統計」

林産物

32 丸太生産量

(単位：千m³、%)

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	対前年 増減率 (%)	
総数		27,145	21,242	17,034	15,615	16,166	16,609	17,650	17,709	0.3	
樹 種 別	針 計	17,646 (65)	16,575 (78)	13,707 (80)	13,167 (84)	13,695 (85)	14,017 (84)	15,162 (86)	14,975 (85)	▲ 1.2	
	葉	スギ			7,671	7,491	7,756	8,059	8,848	8,755	▲ 1.1
		うち、製材用			7,258 <57>	6,773 <59>	6,737 <58>	6,753 <58>	7,175 <60>	6,782 <61>	▲ 5.5
	樹	ヒノキ	-	-	2,273	2,004	2,014	1,991	1,986	1,886	▲ 5.0
		アカマツ・クロマツ			1,034	816	783	811	794	815	2.6
		カラマツ・エゾマツ・トドマツ			2,410	2,668	2,910	2,952	3,295	3,286	▲ 0.3
	その他			319	188	232	204	239	233	▲ 2.5	
広葉樹	9,499 (35)	4,667 (22)	3,327 (20)	2,448 (16)	2,471 (15)	2,592 (16)	2,488 (14)	2,734 (15)	9.9		
用途別	製材	18,023 (66)	16,252 (77)	12,798 (75)	11,469 (73)	11,571 (72)	11,645 (70)	11,981 (68)	11,110 (63)	▲ 7.3	
合板	354 (1)	228 (1)	138 (1)	546 (3)	863 (5)	1,144 (7)	1,632 (9)	2,137 (12)	30.9		
木材チップ	8,768 (32)	4,762 (22)	4,098 (24)	3,600 (23)	3,732 (23)	3,820 (23)	4,037 (23)	4,462 (25)	10.5		

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～18(2006)年)、「平成19年木材統計」(平成19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)

注1：()は総数に対する割合である。

注2：< > は製材用に対する割合である。

注3：生産量には、林地残材は含まれていない。

注4：総数は製材用、合板用、木材チップ用の計である。

注5：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。



33 木材需給表(丸太換算)

(単位:千m³)

需要 供給	総需要量								国内消費								輸出								
	計	用材					しいたけ原木	薪炭材	計	用材					しいたけ原木	薪炭材	計	用材					薪炭材		
		小計	製材用材	パルプ・チップ用材	合板用材	その他用材				小計	製材用材	パルプ・チップ用材	合板用材	その他用材				小計	製材用品	木材チップ	木材パルプ	合板等		その他	
総供給量	計	(6,509)	(6,509)	(6,509)	(6,509)	(6,509)	548	1,005	(6,509)	(6,509)	(6,509)	(6,509)	2,616	548	994	918	76	811	801	69	635	25	72	11	
	丸太	(6,509)	(6,509)	(6,509)	(6,509)	(6,509)			(6,509)	(6,509)	(6,509)	(6,509)						801	801	69	635	25	72		
	林地残材	208	208	208	208	208			208	208	208	208													
	輸入木材製品	51,612	51,612	10,319	32,723	6,283	2,287		51,612	51,612	10,319	32,723	6,283	2,287											
	しいたけ原木	548					548		548					548											
	薪炭材	1,005						1,005	994						994	918	76	11						11	
国内生産	計	19,424	18,731	11,110	5,113	2,137	370	548	146	18,616	17,933	11,042	4,479	2,114	298	548	135	112	22	808	797	68	635	23	72
	丸太	18,523	18,523	11,110	4,905	2,137	370			17,725	17,725	11,042	4,271	2,114	298					797	797	68	635	23	72
	林地残材	208	208	208						208	208														
	しいたけ原木	548					548			548					548										
	薪炭材	146						146	135						135	112	22	11							11
輸入	計	60,094	59,234	16,042	32,743	8,132	2,317		859	60,090	59,231	16,041	32,743	8,130	2,317		859	805	54	3	3	1	2	0	
	丸太	7,622	7,622	5,723	20	1,849	30		7,619	7,619	5,722	20	1,847	30						3	3	1	2	0	
	小計	51,612	51,612	10,319	32,723	6,283	2,287		51,612	51,612	10,319	32,723	6,283	2,287											
	製材用品	10,319	10,319	10,319					10,319	10,319	10,319														
	木材パルプ	6,526	6,526		6,526				6,526	6,526		6,526													
	木材チップ	26,196	26,196	26,196					26,196	26,196	26,196														
	合板等	6,283	6,283		6,283				6,283	6,283		6,283													
	その他	2,287	2,287				2,287		2,287	2,287				2,287											
	薪炭等	859						859	859						859	805	54								

資料：林野庁「木材需給表」(平成20(2008)年)

注1：大中角・盤等の輸入半製品については、「輸入」の「製材品」に含めた。

注2：パルプ・チップ用材の()書は、工場残材及び解体材・廃材から生産された木材チップであり、製材用材、合板用材、その他用材に含まれるので、「総需要量」及び「国内消費」の「用材小計」には含めていない。

注3：「林地残材」とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に工場に搬入されたものである。

注4：数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

34 木材需要(供給)量(丸太換算)

(単位:千m³)

	総需要(供給)量	用材	薪炭材	しいたけ原木	用材部門別				用材供給先別		用材自給率(%)
					製材用	パルプ・チップ用	合板用	その他用	国産材	外材	
S30(1955)年	65,206	45,278	19,928	-	30,295	8,285	2,297	4,401	42,794	2,484	94.5
35(60)	71,467	56,547	14,920	-	37,789	10,189	3,178	5,391	49,006	7,541	86.7
40(65)	76,798	70,530	6,268	-	47,084	14,335	5,187	3,924	50,375	20,155	71.4
45(70)	106,601	102,679	2,348	1,574	62,009	24,887	13,059	2,724	46,241	56,438	45.0
50(75)	99,303	96,369	1,132	1,802	55,341	27,298	11,173	2,557	34,577	61,792	35.9
55(80)	112,211	108,964	1,200	2,047	56,713	35,868	12,840	3,543	34,557	74,407	31.7
60(85)	95,447	92,901	572	1,974	44,539	32,915	11,217	4,230	33,074	59,827	35.6
H2(90)	113,242	111,162	517	1,563	53,887	41,344	14,546	1,385	29,369	81,793	26.4
7(95)	113,698	111,922	721	1,055	50,384	44,922	14,314	2,302	22,916	89,006	20.5
12(2000)	101,006	99,263	940	803	40,946	42,186	13,825	2,306	18,022	81,241	18.2
16(04)	91,437	89,799	1,028	610	35,041	37,981	13,976	2,802	16,555	73,245	18.4
17(05)	87,423	85,857	1,001	565	32,901	37,608	12,586	2,763	17,176	68,681	20.0
18(06)	88,306	86,791	979	535	33,032	36,907	13,720	3,131	17,617	69,174	20.3
19(07)	83,879	82,361	976	542	30,455	37,124	11,260	3,522	18,626	63,735	22.6
20(08)	79,518	77,965	1,005	548	27,152	37,856	10,269	2,688	18,731	59,234	24.0

資料：林野庁「木材需給表」

注1：需要(供給)量は、丸太の需要(供給)量と輸入した製材品、合板、パルプ・チップ等の製品を丸太材積に換算した需要(供給)量とを合計したものである。

注2：その他は、構造用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等である。

注3：用材自給率=国産材用材供給量÷総用材供給量×100

注4：総計と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

35 国産材・外材別の木材需要（供給）量（丸太換算）

（単位：千㎡）

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	対前年増減率 (%)	
総需要（供給）量		113,242	113,698	101,006	91,437	87,423	88,306	83,879	79,518	▲ 5.2	
用材		111,162	111,922	99,263	89,799	85,857	86,791	82,361	77,965	▲ 5.3	
新炭		517	721	940	1,028	1,001	979	976	1,005	3.0	
しいたけ原木		1,563	1,055	803	610	565	535	542	548	1.1	
材 部 門 別	総 数	小計	111,162	111,922	99,263	89,799	85,857	86,791	82,361	77,965	▲ 5.3
		国産材	29,369	22,916	18,022	16,555	17,176	17,617	18,626	18,731	0.6
		外材	81,793	89,006	81,241	73,245	68,681	69,174	63,735	59,234	▲ 7.1
	製 材 用	自給率 (%)	26.4	20.5	18.2	18.4	20.0	20.3	22.6	24.0	6.2
		小計	53,887	50,384	40,946	35,041	32,901	33,032	30,455	27,152	▲ 10.8
		国産材	18,023	16,252	12,798	11,469	11,571	11,645	11,981	11,110	▲ 7.3
	ハ ル ブ チ ップ 用	外材	35,864	34,132	28,148	23,572	21,330	21,387	18,474	16,042	▲ 13.2
		自給率 (%)	33.4	32.3	31.3	32.7	35.2	35.3	39.3	40.9	4.1
		小計	(7,336)	(6,280)	(6,537)	(7,682)	(7,974)	(7,664)	(7,402)	(6,509)	▲ 12.1
	合 板 用	国産材	41,344	44,922	42,186	37,981	37,608	36,907	37,124	37,856	2.0
		外材	10,373	5,989	4,749	4,249	4,426	4,496	4,673	5,113	9.4
		自給率 (%)	25.1	13.3	11.3	11.2	11.8	12.2	12.6	13.5	7.1
そ の 他 用	小計	14,546	14,314	13,825	13,976	12,586	13,720	11,260	10,269	▲ 8.8	
	国産材	354	228	138	546	863	1,144	1,632	2,137	30.9	
	外材	14,192	14,086	13,687	13,430	11,723	12,576	9,628	8,132	▲ 15.5	
合 板 用	自給率 (%)	2.4	1.6	1.0	3.9	6.9	8.3	14.5	20.8	43.4	
	小計	1,385	2,302	2,306	2,802	2,763	3,131	3,522	2,688	▲ 23.7	
	国産材	619	447	337	291	316	332	340	370	8.8	
そ の 他 用	外材	766	1,855	1,969	2,511	2,447	2,799	3,182	2,317	▲ 27.2	
	自給率 (%)	44.7	19.4	14.6	10.4	11.4	10.6	9.7	13.8	42.3	

資料：林野庁「木材需給表」

注1：需要（供給）量は、丸太の需要（供給）量と輸入した製材品、合板、チップ・パルプ等の製品を丸太材積に換算した需要（供給）量とを合計したものである。

注2：自給率＝国産材用材供給量÷総用材供給量×100

注3：その他用は、構適用集成材・加工材・枕木・電柱・くい丸太・足場丸太等である。

注4：（ ）は、製材工場等の残材による木材チップで、外書である。

注5：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

36 我が国への産地別木材（用材）供給量（丸太換算）

（単位：千㎡、%）

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	
材 部 門 別	米 材	計	(35.0)	(34.2)	(28.9)	(20.1)	(18.8)	(19.0)	(17.3)	(17.9)
		米	38,862	38,261	28,700	18,087	16,129	16,501	14,221	13,948
		カナダ	27,479	23,273	14,460	7,355	6,844	6,747	6,318	6,291
	南 洋 材	計	11,383	14,987	14,240	10,733	9,285	9,754	7,904	7,657
		マレーシア	(18.4)	(14.7)	(13.7)	(12.7)	(12.2)	(12.2)	(10.3)	(9.8)
		インドネシア	20,475	16,418	13,569	11,424	10,511	10,606	8,517	7,632
	外 材	その他	13,389	7,601	6,690	5,635	5,888	6,590	5,285	4,959
		北洋材	5,618	6,334	5,858	5,234	4,137	3,556	2,777	2,419
		ロシア	1,468	2,482	1,021	554	486	460	455	253
	欧 州 材	計	(6.0)	(6.4)	(7.5)	(9.5)	(8.6)	(8.9)	(8.1)	(4.9)
		ヨーロッパ州	6,661	7,131	7,429	8,550	7,411	7,705	6,712	3,795
		ニュージーランド	(0.5)	(2.2)	(4.7)	(6.8)	(6.9)	(7.5)	(6.9)	(5.5)
そ の 他 の 外 材	チリ	606	2,411	4,675	6,123	5,937	6,480	5,668	4,324	
	オーストラリア	(3.0)	(3.8)	(4.4)	(3.4)	(3.4)	(3.0)	(3.5)	(3.8)	
	中国	3,286	4,263	4,374	3,086	2,878	2,644	2,851	2,975	
合 計	チリ	(3.2)	(4.7)	(3.8)	(4.3)	(4.6)	(4.6)	(5.5)	(6.5)	
	オーストラリア	3,553	5,311	3,795	3,889	3,952	4,010	4,498	5,049	
	中国	(4.4)	(6.6)	(8.7)	(10.2)	(10.2)	(10.3)	(12.1)	(12.8)	
国 産 材	オーストラリア	4,889	7,428	8,604	9,134	8,729	8,908	9,933	9,986	
	中国	(0.6)	(1.8)	(2.5)	(2.8)	(3.0)	(3.3)	(2.6)	(2.8)	
	その他	617	2,061	2,445	2,497	2,544	2,897	2,121	2,156	
合 計	その他	(2.6)	(5.1)	(7.7)	(11.6)	(12.3)	(10.9)	(11.2)	(12.0)	
	計	2,844	5,721	7,651	10,454	10,591	9,422	9,215	9,370	
	計	(73.6)	(79.5)	(81.8)	(81.6)	(80.0)	(79.7)	(77.4)	(76.0)	
合 計	計	81,793	89,006	81,241	73,244	68,681	69,174	63,735	59,234	
	国産材	(26.4)	(20.5)	(18.2)	(18.4)	(20.0)	(20.3)	(22.6)	(24.0)	
	合計	29,369	22,916	18,022	16,555	17,176	17,617	18,626	18,731	
合計		(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	
		111,162	111,922	99,263	89,799	85,857	86,791	82,361	77,965	

資料：財務省「貿易統計」、林野庁「木材需給表」

注1：この表の数値は、国産丸太及び輸入丸太の供給量に、丸太材積に換算した輸入製材品、パルプ・チップ、合板等の値を加えて、各国別の供給量を算出したものである。

注2：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。

注3：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。

注4：その他の外材のその他とは、アフリカ諸国等からの輸入である。

注5：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

注6：（ ）は、合計に占める割合である。



37 我が国への製材用木材供給量(丸太換算)

(単位：千㎡)

産地・国		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
輸入製材品	計	8,964	10,749	8,233	6,241	5,187	5,363	4,262	4,572
	米材	3,896	2,765	1,112	407	268	241	314	419
	米カ	5,068	7,984	7,121	5,834	4,919	5,122	3,948	4,154
	計	1,820	1,650	1,289	641	579	487	414	298
	南洋材	1,032	934	651	316	311	321	295	230
	マレーシア	612	654	622	315	259	150	101	56
	インドネシア	176	62	16	10	9	17	18	11
	その他	368	585	878	1,576	1,695	1,657	1,599	1,125
	北洋材	6	1,171	3,448	4,629	4,528	4,757	4,149	3,165
	欧州材	286	398	433	283	273	281	264	267
その他の外材	572	750	778	710	660	581	634	635	
チリ	581	679	854	388	384	337	327	258	
その他									
輸入製材品計		12,598	15,982	15,913	14,468	13,305	13,464	11,649	10,319
輸入製材用丸太	米材	15,696	11,737	7,311	5,547	4,927	4,962
	南洋材	2,529	1,144	425	261	237	181
	北洋材	3,685	3,775	3,259	2,350	1,938	1,855
	ニュージーランド材	1,126	1,162	1,058	798	744	797
	その他の丸太	230	332	182	148	179	142
輸入製材用丸太計		23,266	18,150	12,235	9,104	8,025	7,923	6,825	5,723
国産材製材用丸太		18,023	16,252	12,798	11,469	11,571	11,645	11,981	11,110
合計		53,887	50,384	40,946	35,041	32,901	33,032	30,455	27,152

資料：財務省「貿易統計」、農林水産省「木材需給報告書」(平成18(2006)年以前)、「平成19年木材統計」(平成19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)、林野庁「木材需給表」

注1：輸入製材品の値は、丸太材積に換算したものである。

注2：輸入製材用丸太及び国産材製材用丸太は、製材工場に入荷する時点をとらえた調査であり、「木材需給報告書」の値である。

注3：南洋材のその他とは、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島からの輸入である。

注4：欧州材のヨーロッパ州とは、ロシアを除くヨーロッパ各国からの輸入である。

注5：その他の外材のその他とは、中国、オーストラリア、アフリカ諸国等からの輸入である。

注6：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

38 木材の主な品目別輸入量

(単位：千㎡(平成2(1990)年の合板は千㎡))

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)
丸太	総数	28,999	21,944	15,948	10,654	10,582	8,973	6,228	4,130
	米材	10,857	7,275	4,786	3,453	3,295	2,973	2,745	2,430
	南洋材	11,199	6,001	3,032	1,409	1,349	1,054	721	438
	北洋材	4,865	5,413	5,605	4,689	4,966	4,039	1,867	693
	ニュージーランド材	1,343	1,866	1,843	922	839	813	842	521
	チリ材	413	123	110	106	52	15	0	0
	欧州材	9	517	70	36	35	42	41	35
	アフリカ材	126	525	231	12	10	11	5	5
	中国	82	97	43	9	6	7	5	6
その他	104	127	230	18	29	19	2	1	
製材品	総数	8,889	11,356	9,951	8,395	8,504	7,354	6,522	5,569
	米材	6,461	7,772	5,223	3,293	3,406	2,705	2,904	2,241
	南洋材	1,141	1,041	721	319	269	228	164	118
	北洋材	267	425	559	1,078	1,054	1,017	715	730
	ニュージーランド材	208	289	276	174	179	168	170	79
	チリ材	415	544	496	420	370	404	404	219
	欧州材	4	846	2,189	2,878	3,024	2,637	2,010	2,032
	アフリカ材	3	5	4	1	2	2	1	5
	中国	88	293	375	155	155	146	117	115
その他	303	140	109	77	46	48	36	29	
合板	総数	411,964	4,262	4,609	4,118	4,301	3,430	3,063	2,460
	米材	6,548	287	186	32	22	36	7	5
	南洋材	404,443	3,883	4,280	3,795	3,876	3,043	2,749	2,259
	その他の合板	973	92	142	291	404	351	307	196

資料：財務省「貿易統計」

注1：合板は集成材等の積層材を含まない。

注2：「南洋材」はフィリピン、インドネシア、マレーシア、パプア・ニューギニア、シンガポール、ソロモン諸島、ブルネイの7か国より輸入された材である。

注3：「欧州材」は、ロシアを除くヨーロッパ各国より輸入された材である。

注4：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

39 近年の丸太価格

(単位：円/㎡)

年・月	国産材			米材		北洋材	
	スギ中丸太	ヒノキ中丸太	カラマツ中丸太	ベイツガ丸太	ペイマツ丸太	北洋カラマツ丸太 (合単板用)	北洋エゾマツ丸太
	径 14~22cm 長 3.65~4.0m	径 14~22cm 長 3.65~4.0m	径 14~28cm 長 3.65~4.0m	径 30cm上 長 6.0m上	径 30cm上 長 6.0m上	径 20cm上 長 4.0m上	径 20~28cm 長 3.8m上
H17 (2005)年	12,400	25,200	9,100	23,500	27,000	13,400	16,700
18 (06)	12,700	26,500	9,200	24,100	29,800	16,600	19,200
19 (07)	13,300	25,500	10,100	27,200	31,400	21,900	23,600
20 (08)	12,200	23,600	10,500	27,300	30,500	21,400	23,000
21 (09)	10,900	21,300	10,100	23,500	27,400	17,600	24,400
21(2009)年1月	11,900	23,700	11,100	25,800	29,500	18,500	26,100
2月	11,500	22,400	10,500	25,000	28,500	18,000	25,400
3月	11,000	21,000	10,400	24,000	28,200	18,600	25,200
4月	10,700	20,400	10,300	24,000	28,100	18,600	25,000
5月	10,400	19,900	10,200	23,700	27,600	17,300	24,100
6月	10,300	19,700	9,700	23,400	27,400	17,000	24,000
7月	10,300	20,400	9,800	23,500	27,400	17,100	24,000
8月	10,700	21,200	9,700	23,200	27,000	17,000	23,600
9月	11,000	21,700	9,800	22,400	26,700	17,100	24,000
10月	11,000	21,400	9,800	22,100	26,500	17,100	23,700
11月	11,000	21,800	10,000	22,300	26,400	17,200	23,800
12月	11,200	21,800	10,200	22,100	26,000	17,500	23,800

資料：農林水産省「木材価格」

注1：価格は、各工場における工場着購入価格である。

注2：スギ中丸太からベイツガ丸太までの平成17(2005)年以降及びペイマツ丸太、北洋カラマツ丸太、北洋エゾマツ丸太の平成19(2007)年以降は、平成17(2005)年の推定消費量による加重平均値であり、それ以外は、平成12(2000)年の推定消費量による加重平均値である。

注3：ペイマツ丸太、北洋カラマツ丸太、北洋エゾマツ丸太については、平成19(2007)年1月から調査対象都道府県を変更したことにより過年次価格の遡及ができないことから、平成18(2006)年以前については平成12(2000)年の推定消費量を基に算出された価格を参考として載せている。

40 近年の製材品価格

(単位：円/㎡、合板は円/枚)

年・月	国産材				米材		針葉樹合板
	スギ正角	スギ正角 (乾燥材)	ヒノキ正角	ヒノキ正角 (乾燥材)	ベイツガ正角 (防腐処理材)	ペイマツ平角	
	厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	厚 10.5cm 幅 10.5cm 長 3.0m 2級	厚 12.0cm 幅 12.0cm 長 4.0m 2級	厚 10.5~12cm 幅 24.0cm 長 3.65~4.0m 2級	
H17 (2005)年	40,700	56,200	66,300	80,300	59,700	52,100	960
18 (06)	40,700	57,300	64,400	76,200	60,700	57,400	1,070
19 (07)	42,900	61,300	69,600	84,500	68,300	55,800	1,370
20 (08)	42,400	61,500	67,900	83,400	67,900	56,100	990
21 (09)	41,700	59,700	66,300	79,900	66,800	54,800	860
21(2009)年1月	42,500	61,400	67,500	81,900	68,400	56,500	910
2月	42,400	60,900	67,200	80,800	67,700	55,500	890
3月	41,900	60,300	66,900	80,000	67,200	55,000	860
4月	41,900	59,700	66,700	79,800	67,200	54,700	850
5月	41,900	59,600	66,600	79,700	67,000	54,600	850
6月	41,600	59,400	65,900	80,000	66,500	54,600	840
7月	41,500	59,100	65,800	79,300	66,500	54,500	830
8月	41,500	59,100	65,800	79,300	66,600	54,600	840
9月	41,500	59,100	65,900	79,400	66,200	54,600	880
10月	41,200	59,100	65,900	79,400	66,600	54,500	880
11月	41,300	59,100	65,900	79,400	66,600	54,300	870
12月	41,300	59,100	65,800	79,300	65,500	54,300	840

資料：農林水産省「木材価格」

注1：価格は、小売業者への店頭渡し販売価格である。

注2：スギ正角、スギ正角(乾燥材)、ヒノキ正角、針葉樹合板の平成17(2005)年以降及びヒノキ正角(乾燥材)、ベイツガ正角(防腐処理材)、ペイマツ平角の平成19(2007)年以降は、平成17(2005)年の推定消費量による加重平均値であり、それ以外は、平成12(2000)年の推定消費量による加重平均値である。

注3：ヒノキ正角(乾燥材)、ベイツガ正角(防腐処理材)、ペイマツ平角については、平成19(2007)年1月から調査対象都道府県を変更したことにより過年次価格の遡及ができないことから、平成18(2006)年以前は平成12(2000)年の推定消費量を基に算出された価格を参考として載せている。



41 山元立木価格、丸太価格、製材品価格、山林素地価格

(単位：円/㎡)

	山元立木価格			丸太価格			製材品価格			全国平均用材 林地価格 (10a当たり)
	スギ	ヒノキ	マツ	スギ中丸太 径14~22cm 長3.65~4.0m	ヒノキ中丸太 径14~22cm 長3.65~4.0m	ベイツガ丸太 径30cm上 長6.0m上	スギ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	ヒノキ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	ベイツガ正角 厚10.5cm 幅10.5cm 長3.0m	
S30(1955)年	4,478	5,046	2,976	8,200	9,100	-	13,400	20,000	-	8,927
35(60)	7,148	7,996	4,600	11,000	11,700	-	16,900	25,400	-	16,005
40(65)	9,380	10,645	5,743	14,000	17,600	12,800	21,700	34,100	-	20,586
45(70)	13,168	21,352	7,677	18,400	36,600	14,600	33,600	77,000	-	32,705
50(75)	19,726	35,894	10,899	31,000	64,500	24,400	57,900	118,000	40,200	64,797
55(80)	22,707	42,947	11,162	38,700	74,400	34,500	68,900	140,900	58,200	85,990
60(85)	15,156	30,991	7,920	24,900	52,600	25,000	50,000	88,000	45,900	86,820
H2(90)	14,595	33,607	7,528	26,000	66,000	26,000	58,400	115,400	55,800	83,038
7(95)	11,730	27,607	5,966	21,700	52,200	26,200	55,500	100,100	57,100	75,633
12(2000)	7,794	19,297	4,168	17,200	39,300	22,600	46,300	75,400	50,100	68,659
17(05)	3,628	11,988	2,037	12,400	25,200	23,500	40,700	66,300	51,200	59,991
18(06)	3,332	11,024	1,862	12,700	26,500	24,100	40,700	64,400	52,900	58,696
19(07)	3,369	10,508	1,728	13,300	25,500	27,200	42,900	69,600	-	56,993
20(08)	3,164	9,432	1,638	12,200	23,600	27,300	42,400	67,900	-	55,118
21(09)	2,548	7,850	1,466	10,900	21,300	23,500	41,700	66,300	-	52,747

資料：財団法人日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」、農林水産省「木材需給累年報告書(平成7(1995)年9月)」「昭和30(1955)~平成2(1990)年」、「木材需給報告書」(平成7(1995)~18(2006)年)、「木材価格」(平成19(2007)~21(2009)年)

注1：山元立木価格は、利用材積1㎡当たり平均価格である。(各年3月末現在)。

注2：丸太価格は、各工場における工場着購入価格である。

注3：製材品価格は、小売業者への店頭渡し販売価格である。

注4：丸太及び製材品価格の平成17(2005)年以降は、平成17(2005)年の推定消費量による加重平均値である。

注5：製材品価格のうちベイツガ正角については、平成19(2007)年に、統計の調査品目から削除された。

42 特用林産物の生産量及び生産額

	単 位	H2年	7	12	16	17	18	19	20	対前年 増減率(%)	
		(1990)	(95)	(2000)	(04)	(05)	(06)	(07)	(08)		
食 用	乾しいたけ	トン	11,238	8,070	5,236	4,088	4,091	3,861	3,566	3,867	8.4
		百万円	42,614	24,630	13,106	14,750	13,484	14,359	16,207	19,422	19.8
	生しいたけ	トン	79,134	74,495	67,224	66,204	65,186	66,349	67,155	70,342	4.7
		百万円	96,464	80,306	69,375	68,786	68,837	73,514	75,348	78,009	3.5
	なめこ	トン	22,083	22,858	24,942	25,815	24,801	25,615	25,818	25,945	0.5
		百万円	15,127	14,218	11,848	10,274	9,375	10,681	10,146	10,560	4.1
	えのきたけ	トン	92,255	105,752	109,510	112,997	114,542	114,630	129,770	131,107	1.0
		百万円	53,047	48,434	38,438	32,317	30,583	36,223	37,244	39,463	6.0
	ひらたけ	トン	33,475	17,166	8,546	4,655	4,074	3,384	3,024	2,578	▲ 14.8
		百万円	25,508	9,493	3,718	1,955	1,552	1,347	1,197	1,173	▲ 2.1
	ぶなしめじ	トン	29,757	59,760	82,414	88,066	99,787	103,249	108,996	108,104	▲ 0.8
	百万円	22,675	40,756	44,586	43,064	42,310	48,837	50,683	57,620	13.7	
まいたけ	トン	7,712	22,757	38,998	46,036	45,111	45,985	43,607	43,398	▲ 0.5	
	百万円	8,051	19,002	29,833	29,555	27,969	27,959	27,080	29,207	7.9	
くり	トン	30,081	22,851	17,488	13,908	12,370	14,048	12,938	14,172	9.5	
	百万円	12,123	9,597	6,873	4,687	5,208	5,914	5,162	5,088	▲ 1.4	
その他	百万円	93,920	69,139	58,613	67,030	59,313	62,843	46,718	51,579	10.4	
計	百万円	369,529	315,575	276,390	272,418	258,631	281,677	269,785	292,121	8.3	
非 食 用	生うるし	kg	4,802	3,427	1,808	1,402	1,340	1,326	1,378	1,586	15.1
		百万円	212	152	68	50	48	48	57	78	35.9
	竹材	千束	6,822	3,941	2,008	1,372	1,290	1,191	1,143	1,043	▲ 8.7
		百万円	6,528	4,038	1,994	1,297	1,181	1,071	991	864	▲ 12.8
	桐材	㎡	13,691	7,888	3,213	1,888	1,757	1,502	1,414	1,284	▲ 9.2
		百万円	1,213	673	261	151	141	120	113	103	▲ 9.2
木炭 (竹炭を含む)	トン	35,399	69,896	56,456	37,486	35,029	32,671	30,100	27,889	▲ 7.3	
	百万円	4,916	9,345	6,556	5,931	5,356	5,036	4,811	4,284	▲ 11.0	
その他	百万円	2,173	11,271	11,781	11,216	11,523	7,889	4,039	5,172	28.1	
計	百万円	15,042	25,479	20,660	18,645	18,249	14,164	10,011	10,501	4.9	
合計	百万円	384,571	341,054	297,050	291,063	276,880	295,841	279,796	302,623	8.2	

資料：林野庁業務資料

木材産業等

4.3 製材工場数及び従業者数

	単位	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
製材工場数	工場	16,811	14,565	11,692	9,420	9,011	8,482	7,905	7,378
7.5～22.5kW未満	工場	2,106	1,394	1,137	906	899	862	823	790
22.5～37.5	工場	3,791	3,317	2,635	2,144	1,919	1,814	1,660	1,501
37.5～75.0	工場	6,203	5,472	4,406	3,429	3,371	3,111	2,861	2,628
75.0～150.0	工場	2,853	2,596	1,991	1,630	1,552	1,461	1,372	1,309
150.0～300.0	工場	1,325	1,233	980	814	782	754	706	681
300.0kW以上	工場	533	553	543	497	488	480	483	469
従業者数	人	124,195	104,197	73,625	55,118	49,159	45,389	42,127	38,260

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～18(2006)年)、「平成19年木材統計」(平成19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)
注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)であり、製材用動力の出力数が7.5kW未満の工場を除く。

4.4 用途別製材品出荷量

(単位：千㎡)

	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
建築用材	23,477	19,871	13,813	11,023	10,507	10,207	9,455	8,836
土木建設用材	1,090	977	698	520	479	515	468	418
木箱仕組板・梱包用材	2,943	2,311	1,862	1,571	1,400	1,391	1,321	1,254
家具・建具用材	1,437	807	368	196	150	117	91	78
その他用材	1,065	800	490	293	289	324	294	298
計	30,012	24,766	17,231	13,603	12,825	12,554	11,632	10,884
うち人工乾燥材	—	—	—	2,109	2,116	2,319	2,293	2,348

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～18(2006)年)、「平成19年木材統計」(平成19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)
注：出力7.5kW以上の製材工場の数値である。

4.5 国産材・外材別製材工場数及び製材用素材入荷量

(単位：工場、千㎡)

	計		国産材のみ		国産材と外材		外材のみ	
	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量
H 2(1990)年	16,793	43,526	6,455	11,415	7,744	15,271	2,594	16,840
7 (95)	14,554	36,670	6,049	11,296	6,292	11,483	2,213	13,891
12(2000)	11,633	26,526	5,444	9,663	4,614	6,775	1,575	10,088
16 (04)	9,387	21,705	4,913	9,211	3,370	4,577	1,104	7,917
17 (05)	8,955	20,540	4,978	9,704	3,017	3,839	960	6,997
18 (06)	8,433	20,342	4,897	9,684	2,670	3,973	866	6,685
19 (07)	7,838	19,448	4,723	10,275	2,388	3,351	727	5,822
20 (08)	7,330	17,568	4,661	9,622	2,075	2,962	594	4,984

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～18(2006)年)、「平成19年木材統計」(平成19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)
注：工場数は素材の入荷があった工場で、かつ製材用動力の出力数が7.5kW以上の製材工場を対象とした。

4.6 合板工場数及び生産量、従業者数

	単位	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
合 単 板 工 場 数	工場	522	455	354	287	271	263	248	233
生 産 量	普通合板生産量	千㎡		3,218	3,149	3,212	3,314	3,073	2,586
	(//)	(千㎡)	997,693	655,799					
	うち針葉樹合板	千㎡	—	—	—	2,150	2,249	2,484	2,156
	(//)	(千㎡)	—	—	—	—	—	—	—
特殊合板生産量	千㎡			1,534	1,100	1,037	1,102	924	825
(//)	(千㎡)	372,326	340,687						
従 業 者 数	人	29,476	24,006	16,795	13,296	11,877	11,414	11,144	10,040

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～18(2006)年)、「平成19年木材統計」(平成19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)
注1：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)である。
注2：平成19(2007)年の単板製造用素材入荷量は、月別合板統計の1月～12月までの入荷量を集計した数値である。

参
考
付
表

47 合板用素材の入荷量

(単位：千㎡)

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
入 荷 量 合 計		9,839	7,321	5,401	5,389	4,636	5,183	5,227	3,986
国産材	小 計	354	228	138	546	863	1,144	1,632	2,137
	針 葉 樹	17	44	60	514	833	1,126	1,619	2,103
	す ぎ	0	1	0	266	542	803	1,061	1,297
	か ら ま つ	3	40	51	171	210	217	386	592
広 葉 樹	337	184	78	32	30	18	13	34	
外 材	小 計	9,485	7,093	5,263	4,843	3,773	4,039	3,595	1,849
	針 葉 樹	-	-	-	3,304	2,624	2,980	-	-
	南 洋 材	9,129	5,502	2,597	1,321	1,108	1,018	846	535
	ラ ワ ン 材	7,985	4,416	1,738	779	800	812	748	490
	米 材	63	102	29	15	13	26	48	135
	北 洋 材	181	928	1,893	2,953	2,506	2,897	2,655	1,123
	ニュージーランド材	103	388	603	453	124	83	35	33
そ の 他	9	173	141	101	22	15	11	23	

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～18(2006)年)、「平成19年木材統計」(平成19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)

48 集成材製造業の企業数及び従業員数

	単位	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
集成材企業数	工場	274	293	281	263	259	234	225	199
従業員数	人	7,550	8,110	7,160	6,810	6,796	6,864	6,795	6,442

資料：日本集成材工業協同組合

49 集成材の生産量及び輸入量

(単位：千㎡)

	国 内 生 産 量								輸 入 量		
	造 作 用			構 造 用					合 計	集成材	グルーラム
	化粧ばり	無化粧	計	化粧ばり	小断面	中断面	大断面	計			
H 2 (1990)年	195	129	323	89	9	16	12	127	450	86	271
7 (95)	232	142	374	97	44	37	30	208	582	43	148
12 (2000)	163	106	270	71	326	189	36	622	892	106	445
16 (04)	126	86	212	36	607	582	52	1,276	1,488	182	611
17 (05)	119	83	202	28	646	594	41	1,310	1,512	162	671
18 (06)	111	75	186	23	646	791	30	1,490	1,675	165	806
19 (07)	100	74	174	14	519	619	19	1,172	1,346	172	642
20 (08)	93	76	169	9	539	560	17	1,124	1,293	130	404

資料：財務省「貿易統計」、日本集成材工業協同組合調べ
注：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

50 木材チップ工場数及び従業者数

	単位	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
チップ工場数	工場	4,494	3,535	2,657	2,106	2,040	1,971	1,857	1,744
従業者数	人	9,422	6,614	4,872	4,409	3,889	3,619	3,426	3,034

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～18(2006)年)、「平成19年木材統計」(平成19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)
注：工場数は、12月31日現在の工場数(3か月未満休業中のものを含む)である。

51 木材チップ生産量

(単位：千m³(～平成12(2000)年)、千トン(平成16(2004)年～))

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
木 材 チ ッ プ 生 産 量		16,640	11,226	10,851	5,782	6,005	5,899	5,894	5,797
原 材 料 別	素 材 (原 木)	9,237	4,928	4,282	2,139	2,235	2,276	2,368	2,676
	工 場 残 材	7,072	5,860	5,130	2,198	2,188	2,275	2,182	1,913
	林 地 残 材	67	18	32	58	67	66	100	104
	解 体 材 ・ 廃 材	264	420	1,407	1,388	1,515	1,282	1,244	1,104
樹 種 別	針 葉 樹	7,409	6,790	7,395	2,938	2,952	3,004	3,087	2,918
	広 葉 樹	9,231	4,436	3,456	1,456	1,538	1,613	1,563	1,775

資料：農林水産省「木材需給報告書」(平成2(1990)～18(2006)年)、「平成19年木材統計」(平成19(2007)年)、「平成20年木材統計」(平成20(2008)年)

52 プレカット工場数とシェア

	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
プレカット工場数	483	784	877	871	837	847	848	830
木造軸組工法住宅のうち プレカットのシェア (%)	8	32	52	76	79	81	84	84

資料：全国木造住宅機械プレカット協会

53 木材市売市場・木材センター数及び取扱量

(単位：千㎡ (㎡))

		S55年 (1980)	59 (84)	H3 (91)	13 (2001)	18 (06)	
事業所数	計	645	613	624	567	516	
	木材市売市場	576	556	574	523	-	
	木材センター	69	57	50	44	-	
木材市売市場・ 木材センター	素材流通業者	事業所数	509	482	480	425	-
		素材仕入量	8,622	8,785	9,128	8,907	9,039
		1事業所当たり取扱量	(16,939)	(18,226)	(19,017)	(20,958)	-
	製品流通業者	事業所数	346	315	309	274	-
		製品販売量	8,224	6,951	7,600	5,092	4,288
	1事業所当たり取扱量	(23,769)	(22,067)	(24,595)	(18,584)	-	

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

注1：木材市売市場とは、市売売買（定められた日時に、売り手と買い手が「せり」又は「入札」によって売買価格を決定する方法）と称される売買方式によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

注2：木材センターとは、二つ以上の売り手を同一の場所に集め、買手を対象として相対取引によって木材の売買を行わせる事業所をいう。

注3：事業所数の内訳（木材市売市場及び木材センター）は平成18（2006）年の統計調査項目から削除された。

注4：木材市売市場・木材センターの各項目の中の事業所数は平成18（2006）年の統計調査項目から削除された。

54 木材販売業者数及び取扱量

(単位：千㎡ (㎡))

		S55年 (1980)	59 (84)	H3 (91)	13 (2001)	18 (06)	
事業所数	計	18,147	17,085	15,584	10,578	9,430	
	卸	4,830	4,887	4,693	-	-	
	小	13,317	12,198	10,891	-	-	
木材販売業者	総数	事業所数	14,702	13,998	13,198	9,695	-
		製材品販売量	33,384	31,051	35,530	21,225	18,069
		1事業所当たり取扱量	(2,271)	(2,218)	(2,692)	(2,189)	-
	国産材	事業所数	13,400	12,792	11,762	8,852	-
		製材品販売量	9,881	10,970	10,188	6,340	6,822
		1事業所当たり取扱量	(737)	(858)	(866)	(716)	-
外材	事業所数	13,357	12,485	11,616	8,442	-	
	製材品販売量	23,503	20,081	25,342	14,886	11,248	
	1事業所当たり取扱量	(1,760)	(1,608)	(2,182)	(1,763)	-	

資料：農林水産省「木材流通構造調査報告書」

注1：木材販売業者とは、木材を購入して販売する事業所をいう。

注2：事業所数の内訳（卸売及び小売）は平成13（2001）年の統計調査項目から削除された。

注3：木材販売業者の各項目の中の事業所数は平成18（2006）年の統計調査項目から削除された。

55 新設住宅着工戸数及び床面積

		H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	対前年増減 率(%)	
新設住宅着工戸数 (戸)	総数	1,707,109	1,470,330	1,229,843	1,236,175	1,290,391	1,060,741	1,093,485	788,410	▲ 27.9	
	資金別	民間資金	1,201,936	837,959	752,205	1,044,946	1,146,888	960,938	984,392	690,058	▲ 29.9
		公的資金	505,173	632,371	477,638	191,229	143,503	99,803	109,093	98,352	▲ 9.8
	利用関係別	持家	486,527	537,680	451,522	353,267	358,519	314,865	318,508	284,631	▲ 10.6
		分譲住宅	379,600	352,651	345,291	369,067	379,181	294,777	300,078	168,837	▲ 43.7
		貸家	806,097	553,946	421,332	504,294	543,463	441,733	464,763	321,469	▲ 30.8
	構造別	給与住宅	34,885	26,053	11,698	9,547	9,228	9,366	10,136	13,473	32.9
木造率(%)		(42.6)	(45.3)	(45.2)	(43.9)	(43.3)	(47.6)	(47.3)	(54.6)	15.4	
木造		727,765	666,124	555,814	542,848	559,201	504,546	516,868	430,121	▲ 16.8	
	非木造	979,344	804,206	674,029	693,327	731,190	556,195	576,617	358,289	▲ 37.9	
新設住宅着工床面積 (千㎡)	総数	137,490	136,524	119,879	106,593	108,815	90,651	90,768	68,324	▲ 24.7	
	資金別	民間資金	81,179	65,529	65,116	88,446	95,406	81,595	81,355	60,023	▲ 26.2
		公的資金	56,310	70,995	54,763	18,147	13,409	9,056	9,413	8,301	▲ 11.8
	利用関係別	持家	66,327	73,735	63,009	47,320	47,778	41,562	41,562	36,376	▲ 12.5
		分譲住宅	32,266	31,822	33,520	34,995	35,446	28,176	27,615	15,924	▲ 42.3
		貸家	36,350	29,162	22,526	23,616	24,973	20,290	20,942	15,261	▲ 27.1
	構造別	給与住宅	2,548	1,806	823	662	618	623	649	763	17.5
木造率(%)		(52.7)	(54.1)	(53.8)	(53.0)	(53.1)	(56.7)	(56.7)	(63.8)	12.6	
木造		72,440	73,803	64,531	56,494	57,770	51,383	51,449	43,591	▲ 15.3	
	非木造	65,050	62,722	55,347	50,100	51,045	39,268	39,319	24,733	▲ 37.1	
1戸当たり床面積 (㎡)	総数	80.5	92.9	97.5	86.2	84.3	85.5	83.0	86.7	4.4	
	資金別	民間資金	67.5	78.2	86.6	84.6	83.2	84.9	82.6	87.0	5.2
		公的資金	111.5	112.3	114.7	94.9	93.4	90.7	86.3	84.4	▲ 2.2
	利用関係別	持家	136.3	137.1	139.5	133.9	133.3	132.0	130.5	127.8	▲ 2.1
		分譲住宅	85.0	90.2	97.1	94.8	93.5	95.6	92.0	94.3	2.5
		貸家	45.1	52.6	53.5	46.8	46.0	45.9	45.1	47.5	5.4
	構造別	給与住宅	73.0	69.3	70.4	69.3	67.0	66.5	64.0	56.6	▲ 11.6
木造		99.5	110.8	116.1	104.1	103.3	101.8	99.5	101.3	1.8	
	非木造	66.4	78.0	82.1	72.3	69.8	70.6	68.2	69.0	1.2	

資料：国土交通省「住宅着工統計」

注1：資金別で公的資金と民間資金を併用した住宅は、公的資金に含めて計上した。

注2：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

56 工法別新設木造住宅着工戸数

(単位：戸、%)

	H2年 (1990)	7 (95)	12 (2000)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	21 (09)	対前年増減 率(%)
木造軸組工法住宅	(88.2) 642,102	(83.3) 554,690	(80.3) 446,359	(78.5) 426,299	(77.4) 432,731	(77.0) 388,435	(75.7) 391,221	(75.4) 324,406	▲ 17.1
ツーバイフォー工法住宅	(7.0) 51,093	(11.1) 73,989	(14.2) 79,114	(17.7) 95,824	(18.8) 105,390	(19.5) 98,555	(20.8) 107,707	(21.2) 91,394	▲ 15.1
木質系プレハブ工法住宅	(4.8) 34,570	(5.6) 37,445	(5.5) 30,341	(3.8) 20,725	(3.8) 21,080	(3.5) 17,556	(3.5) 17,940	(3.3) 14,321	▲ 20.2
合計	727,765	666,124	555,814	542,848	559,201	504,546	516,868	430,121	▲ 16.8

資料：国土交通省「住宅着工統計」

注1：()は、新設木造住宅着工戸数に占める割合である。

注2：四捨五入のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

海外の森林

57 世界各国の森林面積

国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)	1人当たり森林面積 (ha)	国名	土地面積 (千ha)	森林面積 (千ha)	人工林面積 (千ha)	森林率 (%)	1人当たり森林面積 (ha)
オーストリア共和国	8,273	3,862	-	46.7	0.5	アンゴラ共和国	124,670	59,104	131	47.4	4.2
ベルギー・ルクセンブルグ	3,287	754	303	22.9	0.1	カメルーン	46,540	21,245	-	45.6	1.3
チェコ共和国	7,728	2,648	0	34.3	0.3	コートジボワール共和国	31,800	10,405	337	32.7	0.6
デンマーク	4,243	500	315	11.8	0.1	コロンビア共和国	226,705	133,610	-	58.9	2.4
フィンランド共和国	30,459	22,500	0	73.9	4.3	エチオピア連邦民主共和国	100,000	13,000	491	11.9	0.2
フランス共和国	55,010	15,554	1,968	28.3	0.3	ケニア共和国	56,914	3,522	202	6.2	0.1
ドイツ連邦共和国	34,895	11,076	0	31.7	0.1	マダガスカル共和国	58,154	12,838	293	22.1	0.7
ギリシャ共和国	12,890	3,752	134	29.1	0.3	マリ共和国	122,019	12,572	-	10.3	1.1
ハンガリー共和国	9,210	1,976	545	21.5	0.2	モザンビーク共和国	78,409	19,262	38	24.6	1.0
アイスランド共和国	10,025	46	29	0.5	0.2	ナイジェリア連邦共和国	91,077	11,089	349	12.2	0.1
アイルランド	6,889	669	579	9.7	0.2	スーダン共和国	237,600	67,546	5,404	28.4	2.0
イタリア共和国	29,411	9,979	146	33.9	0.2	タンザニア連合共和国	88,359	35,257	150	39.9	1.0
オランダ王国	3,388	365	4	10.8	0.0	ザンビア共和国	74,339	42,452	75	57.1	4.0
ノルウェー王国	30,625	9,387	262	30.7	2.0	ジンバブエ共和国	38,685	17,540	154	45.3	1.3
ポーランド共和国	30,629	9,192	32	30.0	0.2	アフリカ計	2,962,656	635,412	13,171	21.4	0.7
ポルトガル共和国	9,150	3,783	1,234	41.3	0.4	カンボジア王国	17,652	10,447	59	59.2	0.8
ロシア連邦	1,688,850	808,790	16,962	47.9	5.7	中華人民共和国	932,742	197,290	31,369	21.2	0.1
スロバキア共和国	4,808	1,929	19	40.1	0.4	インド	297,319	67,701	3,226	22.8	0.1
スペイン	49,944	17,915	1,471	35.9	0.4	インドネシア共和国	181,157	88,495	3,399	48.8	0.4
スウェーデン王国	41,162	27,528	667	66.9	3.1	イラン・イスラム共和国	163,620	11,075	616	6.8	0.2
スイス連邦	3,955	1,221	4	30.9	0.2	日本国	36,450	24,868	10,321	68.2	0.2
グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)	24,088	2,845	1,924	11.8	0.0	マレーシア	32,855	20,890	1,573	63.6	0.8
ヨーロッパ計	2,260,180	1,001,394	27,641	44.3	1.4	ミャンマー連邦	65,755	32,222	849	49.0	0.6
アルゼンチン共和国	273,669	33,021	1,229	12.1	0.9	大韓民国	9,873	6,265	1,364	63.5	0.1
ブラジル連邦共和国	845,942	477,698	5,384	57.2	2.7	タイ王国	51,089	14,520	3,099	28.4	0.2
チリ共和国	74,880	16,121	2,661	21.5	1.0	トルコ共和国	76,963	10,175	2,537	13.2	0.1
コロンビア共和国	103,870	60,728	328	58.5	1.3	ベトナム社会主義共和国	32,549	12,931	2,695	39.7	0.2
エクアドル共和国	27,684	10,853	164	39.2	0.8	アジア計	3,097,913	571,577	64,896	18.5	0.1
ペルー共和国	128,000	68,742	754	53.7	2.5	カナダ	922,097	310,134	-	33.6	9.7
ベネズエラ共和国	88,205	47,713	-	54.1	1.8	メキシコ共和国	190,869	64,238	1,058	33.7	0.6
南アメリカ計	1,753,646	831,540	11,357	47.4	2.3	アメリカ合衆国(米国)	915,896	303,089	17,061	33.1	1.0
オーストラリア	768,230	163,678	1,766	21.3	8.1	北アメリカ計	2,143,910	705,849	18,842	32.9	1.4
ニュージーランド	26,799	8,309	1,852	31.0	2.0						
オセアニア計	849,116	206,254	3,865	24.3	6.3	世界計	13,067,421	3,952,025	139,772	30.3	0.6

資料：FAO「The Global Forest Resources Assessment 2005」

注1：OECD加盟国、及び、森林面積が1000万ha以上でかつ人口が1000万人以上の国を対象。

注2：土地面積(内水面面積を除く)、森林面積は2005年、人口は2004年の数値。「-」はデータ無し。



58 世界の木材生産量と木材貿易量

① 木材生産量

(単位：木質パルプは千トン、その他は千㎡)

地域	丸太	製材		製材	合板等	木質パルプ	
		産業用材	薪炭用材				
世界計	3,448,644	1,556,687	1,891,958	404,254	266,651	176,331	
大陸別	アフリカ	707,867	70,293	637,574	8,831	2,805	2,896
	北米	535,758	489,249	46,509	114,417	48,003	73,328
	中南米	482,661	196,806	285,856	44,567	15,911	20,090
	アジア	997,034	243,364	753,670	88,928	116,965	27,933
	ヨーロッパ	657,065	504,598	152,468	137,909	79,125	49,344
	オセアニア	68,258	52,378	15,881	9,602	3,841	2,741

② 木材輸出量

(単位：木質パルプは千トン、その他は千㎡)

地域	丸太	製材		製材	合板等	木質パルプ	
		産業用材	薪炭用材				
世界計	121,239	116,489	4,750	111,980	81,440	48,912	
大陸別	アフリカ	3,422	3,414	7	1,281	574	955
	北米	13,371	13,038	333	27,921	10,393	16,671
	中南米	4,631	4,623	8	6,522	5,943	12,085
	アジア	7,986	7,960	26	5,135	24,973	3,206
	ヨーロッパ	80,333	75,959	4,374	68,835	38,200	15,194
	オセアニア	11,496	11,495	2	2,285	1,356	801

③ 木材輸入量

(単位：木質パルプは千トン、その他は千㎡)

地域	丸太	製材		製材	合板等	木質パルプ	
		産業用材	薪炭用材				
世界計	121,868	118,090	3,778	102,910	71,373	47,008	
大陸別	アフリカ	761	754	7	4,657	962	478
	北米	6,292	6,040	252	23,979	12,907	6,008
	中南米	454	450	4	4,634	2,604	2,431
	アジア	55,374	55,225	150	24,759	19,038	18,768
	ヨーロッパ	58,967	55,604	3,363	44,169	35,212	18,940
	オセアニア	19	17	2	711	649	383

資料：FAO「FAOSTAT」(2010年1月13日最終更新で、2010年3月31日現在で有効なもの)

注1：輸出入量における産業用材については、チップ、残材を含む。

注2：製材は、枕木を含む。

注3：合板等とは、単板、合板、パーティクルボード及びファイバーボードである。

注4：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

注5：2008年の数値。

59 産業用材の主な生産・輸出入国

(単位：千㎡)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米 国	336,611	ロシア	36,784	中 国	38,044
カナダ	152,638	米 国	10,200	フィンランド	13,371
ロシア	136,700	ドイツ	6,712	オーストリア	7,550
ブラジル	115,390	ニュージーランド	6,684	スウェーデン	6,781
中 国	95,819	マレーシア	4,811	日 本	6,766
世界計	1,556,687	世界計	116,489	世界計	118,090

資料：FAO「FAOSTAT」(2010年1月13日最終更新で、2010年3月31日現在で有効なもの)

注1：2008年の数値。

注2：輸出量及び輸入量については、チップ、残材を含む。

注3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

60 製材の主な生産・輸出入国

(単位：千㎡)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米 国	72,869	カナダ	24,219	中 国	22,136
カナダ	41,548	ロシア	15,258	米 国	8,719
中 国	29,311	スウェーデン	12,006	イタリア	6,733
ブラジル	24,987	ドイツ	8,581	日 本	6,522
ドイツ	23,060	オーストリア	7,196	英 国	5,886
世界計	404,254	世界計	111,980	世界計	102,910

資料：FAO「FAOSTAT」(2010年1月13日最終更新で、2010年3月31日現在で有効なもの)

注1：2008年の数値。

注2：枕木を含む。

注3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

61 合板等の主な生産・輸出入国

(単位：千㎡)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
中 国	79,947	中 国	10,977	米 国	9,195
米 国	35,576	ドイツ	8,578	ドイツ	5,405
ドイツ	17,432	カナダ	7,895	日 本	4,656
カナダ	12,427	マレーシア	6,402	カナダ	3,706
ロシア	10,616	インドネシア	3,329	英 国	3,398
世界計	266,651	世界計	81,440	世界計	71,373

資料：FAO「FAOSTAT」(2010年1月13日最終更新で、2010年3月31日現在で有効なもの)

注1：2008年の数値。

注2：合板等とは、単板、合板、パーティクルボード及びファイバーボードである。

注3：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

62 木質パルプの主な生産・輸出入国

(単位：千トン)

主な生産国	生産量	主な輸出国	輸出量	主な輸入国	輸入量
米 国	52,899	カナダ	9,603	中 国	10,361
カナダ	20,429	ブラジル	7,209	米 国	5,691
ブラジル	12,850	米 国	7,068	ドイツ	5,124
スウェーデン	12,227	チ リ	4,061	イタリア	3,207
フィンランド	11,624	スウェーデン	3,584	韓 国	2,475
世界計	176,331	世界計	48,912	世界計	47,008

資料：FAO「FAOSTAT」(2010年1月13日最終更新で、2010年3月31日現在で有効なもの)

注1：2008年の数値。

注2：生産量、輸出量、輸入量について、それぞれ上位5か国及び世界計を計上した。

63 JICAを通じた森林・林業分野の技術協力プロジェクト等

地域	国名	プロジェクト名等	活動の内容	
アジア	中国	四川省震災後森林植生復旧計画 2010/2/1～2015/1/31	四川大地震において被害を受けた森林の回復に必要な治山技術の開発や森林植生計画の策定を実施。	
		西部地区林業人材育成計画 2010/3/1～2014/2/29	西部地区の人材育成に必要な研究ツール等の開発及び研修の実施。	
	インドネシア	国家森林計画実施支援 2009/12/1～2012/11/30	インドネシア国の自然環境保全及び気候変動対策にかかわる政策助言及び政策形成支援を実施。	
		保護地域における生態系保全のための荒廃地回復向上支援 2010/3/26～2015/3/25	国立公園及びその周辺地域における荒廃地の回復及びその地域を管理するための体制を構築。	
		衛星情報を活用した森林資源管理支援 2008/9/11～2011/9/10	衛星情報に係る技術移転を通じた森林資源調査実施能力の向上。	
		小径木加工業育成支援 2008/8/1～2010/7/31	小径木加工技術モデルの確立。	
	アジア	ラオス	インドネシアの泥炭における火災と炭素管理(※) 2010/2/1～2014/1/31	インドネシアにおける二酸化炭素の放出源である熱帯泥炭を管理するシステムの構築。
			森林戦略実施促進プロジェクト 2006/4/1～2010/9/30	「森林戦略2020」実施計画の策定とモニタリング、重要政策に関する制度提言などによる、森林セクターの計画・管理能力の強化。
		カンボジア	森林減少抑制のための参加型土地・森林管理 2009/8/29～2014/8/28	北部6県を対象に、参加型土地・森林利用管理を主体とする森林減少抑制システムの開発。
			森林分野人材育成計画フェーズⅡ 2005/12/15～2010/12/14	森林官の能力向上を通じ、フィールドプロジェクトサイトにおいて、住民の生活の安定を目的とした持続的な村落資源利用を確保。
ミャンマー		エーヤーワディ・デルタ住民参加型マングローブ総合管理計画プロジェクト 2007/4/1～2013/3/31	エーヤーワディ・デルタ地域内のプロジェクトが実施された地域における、地域住民とマングローブ林の持続的な共生。	
インド		森林研修センター研修実施能力向上プロジェクト 2009/3/24～2014/3/23	インド政府の森林分野の研修能力の強化。	
ネパール		地方行政強化を通じた流域管理向上 2009/7/15～2014/7/14	住民参加型の流域管理活動の促進に必要な能力の向上を図る。	
キルギス		共同森林管理実施能力向上プロジェクト 2009/1/20～2014/1/19	パイロット地区における住民参加による森林再生と維持・管理及び他の地域への手法の普及。	
中南米		ブラジル	アマゾン森林保全・違法伐採防止のためのALOS衛星画像の利用 2009/6/17～2012/6/16	我が国の衛星画像を活用したモニタリングシステムの改良及び人材育成により、違法伐採等の環境犯罪の取締強化を図る。
	パナマ	アラフエラ湖流域総合管理・参加型村落開発プロジェクト 2006/8/1～2011/7/31	アラフエラ湖の中下流域の村落における、持続的な農林業生産技術の普及。	
	ニカラグア	住民による森林管理プロジェクト 2006/1/23～2011/1/22	レオン県3市の対象村落における、参加住民による持続的な森林管理活動の促進。	
	ドミニカ共和国	サバナ・イエグア・ダム上流域の持続的流域管理計画 2006/4/21～2010/3/31	関係機関の流域管理に関する技術力とプロジェクトを運営するための能力向上。	
	コロンビア	天然林の管理と持続的利用プロジェクト 2007/2/18～2012/2/17	天然林の管理と持続的利用に関する関係機関の能力向上。	
アフリカ	エチオピア	ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画フェーズⅡ 2006/10/1～2010/9/30	オロミア州ベレテ・ゲラ地域における、地域住民の参加による持続的な森林管理手法の普及。	
	ブルキナファソ	コモエ県における住民参加型持続的森林管理計画 2007/7/1～2012/6/30	対象となる4つの指定林において、森林管理住民組織及び住民組織組合を通じて、地域住民による持続的森林管理を目指した活動の実施。	
	マラウイ	シレ川中流域における村落振興・森林復旧プロジェクト 2007/11/5～2012/11/4	森林の保全・復旧に配慮した各種生産活動が地域住民によって実施されるための能力向上。	

資料：林野庁業務資料

注1：平成22(2010)年3月末日現在実施中のものである。

注2：(※)は、JICA及びJST(科学技術振興機構)を通じた地球規模課題に対応する科学技術協力における森林・林業分野のプロジェクトである。

64 JICAを通じた森林・林業分野の開発調査事例

地域	国名	案件名	協力期間	協力の内容
アジア	東ティモール	ラクロ川及びコモロ川流域住民主導型流域管理計画調査	2005～2009年度	流域管理計画、流域管理ガイドラインの策定を通じ、東ティモール国における住民の参加を核にした流域管理の方策を提示する。
	ベトナム	気候変動対策の森林分野における潜在的適地選定調査	2009～2011年度	気候変動対策の緩和に貢献しうる土地の情報の集積。

資料：林野庁業務資料

注：平成22(2010)年3月末日現在実施中のものである。



65 森林・林業分野の円借款事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
インド		ラジャスタン州植林・生物多様性保全計画	2003.3.28	アラバリ山地の砂漠化防止と生態系の状況改善、インディア・ガンジー地区の運河、道路などのインフラ保護により、生物多様性の改善及び林産物の供給能力を強化し、雇用機会を増加させ貧困層の社会経済的状況を改善すること。
		ハリヤナ州森林資源管理・貧困削減計画	2004.3.31	インド北部ハリヤナ州において、住民参加型の植林を通して森林を拡大・再生させるとともに、事業地域の貧困層の所得向上を支援し、貧困削減を図るもの。
		タミールナド州植林計画(Ⅱ)	2005.3.29	インド南部タミールナド州において、住民参加型の植林を通じて森林を拡大・再生させ、事業地域の貧困層の所得向上を支援し、貧困削減を図るもの。
		カルナタカ州持続的森林資源管理・生物多様性保全計画	2005.3.29	インド南部カルナタカ州において、住民参加型の植林を通じて森林を拡大・再生させ、事業地域の貧困層の所得向上を支援するとともに、生物多様性の保全を図るもの。
		オリッサ州森林セクター開発計画	2006.3.31	オリッサ州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民及びNGOと対話を行いつつ、住民参加型の植林(海岸防災林を含む)、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を実施するもの。
		スワン川総合流域保全計画	2006.3.31	ヒマチャル・プラデシュ州ウナ県のスワン川流域において、地方開発の促進、森林の再生及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林等を通じた森林再生、農地保全等を行うもの。
		トリプラ州森林環境改善・貧困削減計画	2007.3.30	トリプラ州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を行うもの。
		グジャラート州森林開発計画(フェーズ2)	2007.3.30	グジャラート州において、森林再生、防災及び地域住民の生活水準の向上を図るため、住民参加型の植林(海岸防災林を含む)、森林に依存せず生計を支える活動の支援、住民の森林管理能力を強化するための施策等を行うもの。
		ウッタル・プラデシュ州参加型森林資源管理・貧困削減計画	2008.3.10	ウッタル・プラデシュ州において、植林を通じた住民参加型の森林安全管理及び生計改善活動等を行うもの。
		森林管理能力強化・人材育成計画	2008.10.22	インド各州(10州)森林局の森林管理研修内容の改善及び老朽化した施設の改修・建設を通じ、研修体制を改善するもの。
アジア		シッキム州生物多様性保全・森林管理計画	2010.3.29	シッキム州に位置する国立公園及び野生生物保護区の管理能力強化、森林局の活動基盤の強化・整備などを実施するもの。
	中国	陝西省黄土高原植林事業計画	2001.3.30	砂漠化及び土壌流出の防止のため、陝西省黄土高原地域にて防護林、経済林、用材林の植林等を行うもの。
		山西省黄土高原植林事業計画	2001.3.30	砂漠化及び土壌流出の防止のため、山西省黄土高原地域にて防護林、経済林、用材林の植林等を行うもの。
		内蒙古自治区黄土高原植林事業計画	2001.3.30	砂漠化及び土壌流出の防止のため、内蒙古自治区黄土高原地域にて防護林、経済林の植林等を行うもの。
		甘粛省植林植草計画	2003.3.28	甘粛省河西回廊地区で植林及び植草を行うことで地域の植生被覆の増加を図り、同地域での砂漠化防止により生活環境及び自然環境の改善を図るもの。
		内蒙古自治区植林植草計画	2003.3.28	内蒙古自治区南部黄河流域で植林及び植草を行うことで地域の森林率及び植生被覆の増加を図り、同地域での砂漠化防止により生活環境及び自然環境の改善を図るもの。
		江西省植林計画	2004.3.31	長江中流域の生態環境保全、土壌流出軽減等、森林の多面的機能の回復を図ることを目的として、江西省で防護林を主とする植林を行うもの。
		湖北省植林計画	2004.3.31	長江中流域の生態環境保全、土壌流出軽減等、森林の多面的機能の回復を図ることを目的として、湖北省で防護林を主とする植林を行うもの。
		四川省生態環境整備計画	2005.3.29	土壌流出軽減、生態系保全等を目的として、四川省で植林、植草等を行うもの。
		新疆ウイグル自治区伊寧市環境整備計画	2005.3.29	上下水道施設、熱供給施設等の整備及び都市生態防護林の植林を行い、同市の総合的な環境改善を図るもの。
		貴州省環境社会発展計画	2006.6.23	貴州省東部の貧困地域において、植林等の環境対策、上水道、医療施設の整備等の衛生対策、高等学校施設の整備を行うことにより、劣悪な環境、衛生、教育状況を改善するもの。
	河南省植林計画	2006.6.23	土壌流出軽減、生態系保全等を目的として、河南省で植林を行うもの。	
	吉林省松花江流域生態環境整備計画	2007.3.30	吉林省松花江流域において、植林を行い、森林率の向上・草原の再生を図ることにより、森林の多面的機能の回復・砂漠化防止に寄与するもの。	
	青海省青海湖周辺において、植林・退化草地の改善及び関連施設(小規模砂防ダム、護岸工事等)の整備を行うことにより、森林・草原の多面的機能の回復、砂漠化の防止を図るもの。	2007.12.1		
インドネシア		気候変動対策プログラム・ローン	2008.8.28	インドネシアが進める気候変動対策を、政策対話を通じて支援することにより、①温室効果ガス吸収・排出規制による温暖化緩和に貢献するほか、②気候変動の悪影響に対する適応能力強化、③気候変動に係る分野横断的課題への対応に寄与するもの。
		気候変動対策プログラム・ローンⅡ	2008.12.10	
北アフリカ	チュニジア	総合植林計画(Ⅱ)	2008.3.28	チュニジアの5県(ベジャ県、ジェンドゥーバ県、ケフ県、シリアナ県、ザグアン県)において、植林、森林火災対策、地域住民の生計支援等の包括的な森林保全活動を行うことにより、森林再生やその持続的管理、同地域における自然環境改善を図るもの。
	モロッコ	河川流域保全計画	2007.3.30	メラ川流域、アラル・エル・ファシダム上流域において、植林、小規模砂防工事、村落開発計画の実施及び地域住民の生活改善啓蒙活動等、森林保全に関する活動を行うもの。

資料：外務省業務資料

注：平成22(2010)年3月末日現在実施中のものである(平成22(2010)年3月末までにE/N締結した案件を含む)。

66 森林・林業分野の無償資金協力事例

地域	国名	案件名	交換公文署名日	概要
アジア	ベトナム	カマウ省森林火災跡地コミュニティ開発支援計画	2008.3.12	カマウ省の最貧国地域であるウミンハ地区の林業、農業等に携わる住民の所得向上を図るため、基礎的な生活水準確保のためのインフラ整備。 クアンナム省及びクアンガイ省において892ヘクタールの海岸保全林植林等の整備を行うもの。 森林の減少・劣化の抑制のために必要な森林資源情報センターの建設等を行うもの。 森林資源現況の把握及び適切な森林管理計画の策定により持続可能な森林経営に資するとともに、森林分野における気候変動対策として温室効果ガス排出削減に貢献。
		第二次中南部海岸保全林植林計画	2009.7.6	
	ラオス	森林資源情報センター整備計画	2010.3.4	
	ラオス	森林保全計画	2010.3.4	
	東ティモール	森林保全計画	2010.3.15	
	カンボジア	森林保全計画	2010.3.18	
	インドネシア	森林保全計画	2010.3.18	
アフリカ	バブアニューギニア	森林保全計画	2010.3.19	
	ケニア	森林保全計画	2010.3.8	
	ガーナ	森林保全計画	2010.3.12	
	カメルーン	森林保全計画	2010.3.17	
	ガボン	森林保全計画	2010.3.18	
エチオピア	森林保全計画	2010.3.18		
中南米	コスタリカ	森林保全計画	2010.3.19	

資料：外務省業務資料

注：平成22(2010)年3月末日現在実施中のものである。

国有林野事業

67 国有林野事業における主要事業量

		H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
収穫量 (千m)	総数	9,863	7,427	4,910	4,860	5,744	5,990	7,201	7,038
	立木販売	5,657	5,026	4,212	3,778	3,796	3,320	4,162	3,703
	丸太販売	4,207	2,401	698	1,082	1,948	2,670	3,039	3,335
更新面積 (ha)	総数	98,938	68,132	34,036	15,719	11,830	13,204	16,351	15,639
	人工造林	11,739	6,919	4,592	3,502	2,992	4,643	7,948	8,517
	天然更新	88,239	62,950	29,444	12,217	8,838	8,561	8,403	7,122
林道 (km)	新設	610	230	99	56	138	130	123	109
	改良	589	1,368	866	1,204	653	712	588	602
治山 (百万円)	国有林治山	20,103	48,555	48,054	20,195	20,618	24,490	19,948	23,990
	災害復旧	3,668	13,800	12,473	14,657	24,317	11,818	11,769	23,268

資料：林野庁業務資料

注1：収穫量は、立木材積であり、内部振替並びに分収造林及び分収育林取分を含む。

注2：丸太販売は、丸太を生産した時点で年度区分した。

注3：更新面積には、森林災害復旧造林事業費による実行分を含む。

注4：人工造林には、新植のほか改植、人工下種を含む。

注5：災害復旧は、平成8(1996)年度までは国有林野内直轄施設災害復旧事業及び治山災害関連緊急事業の額であり、平成9(1997)年度以降は特殊地下壕対策事業を含む。

注6：総数と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

68 平成20(2008)年度に新たに設定又は拡張に取り組んだ保護林の概要

	名称 (所在地)	面積 (ha)	概要
設定	ひうちやま 火打山周辺ライチョウ特定動物生息地保護林 (新潟県糸魚川市)	827 <827>	国内希少野生動物種であるライチョウは、本州中部の高山帯のみに生息し、隔離された分布となっている。火打山一帯では、最北限に生息する個体群が確認されていることから、繁殖上重要な地域を保護する。
拡張	シマフクロウ特定動物生息地保護林 (非公開)	1,174 <13>	国内希少野生動物種であるシマフクロウの繁殖地及び生息地の保護を図る。
	佐藤ヶ平ヒバ林木遺伝資源保存林 (青森県むつ市)	14 <10>	下北半島の北部に位置する代表的なヒバ天然林で、生育良好な林分を中心に一定のまとまりを確保し、ヒバの遺伝資源の保存を図る。
	二股山ケヤキ林木遺伝資源保存林 (青森県大間町)	29 <22>	下北半島の北西部に位置する北限域のケヤキであり、遺伝資源の保存を図る。
	おおごし 大越林木遺伝資源保存林 (和歌山県新宮市)	129 <51>	丘陵帯に属する照葉樹林帯を形成し、大径木のモミやツガも混交する。主にモミ、ツガ、アラカシ、アカシデ、アカガシ等の遺伝資源を保存する。
	おおとうきん 大塔山モミ・ツガ・ブナ植物群落保護林 (和歌山県田辺市)	30 <10>	紀南地方の最高峰である大塔山山頂付近にある、本州最南端のブナ林を保護する。
	高嶺芦谷林木遺伝資源保存林 (島根県津和野町)	7 <2>	天然スギとブナ等から構成される混交林を形成しており、主に天然スギ、ヒノキ、モミ、ブナ、クリ等の遺伝資源を保存する。
	高嶺芦谷ブナ植物群落保護林 (島根県津和野町)	18 <6>	天然スギとブナ等から構成される、中国地方を代表する天然林を保護する。
合計 8か所		2,228 <941>	

注1：国内希少野生動物種とは、日本国内に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動物の種であって、絶滅のおそれのある野生動物の種の保存に関する法律施行令で指定されている種である。

注2：<>書は、保護林の面積のうち、平成20(2008)年度に設定又は拡張した面積である。



69 森林生態系保護地域の概要

名 称	面積 (千ha)	特 徴
日高山脈中央部	66	日高側山地は針葉樹林及び針広混交林、十勝側は広葉樹林であり、中腹以上はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
漁 岳 周 辺	3	大雪山等道央のエゾマツ・トドマツ林と渡島半島のブナ林との移行地域として重要で、ブナを欠く広葉樹林から針広混交林、さらにはダケカンバ帯に至る
大雪山忠別川源流部	11	下部のエゾマツ・トドマツの北方針葉樹林からダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
知 床	46	冷温帯汎針広混交林、高山植生、海浜断崖植生
狩場山地須築川源流部	3	下部はブナ天然林の集団としての北限、上部はダケカンバ帯、ハイマツ帯に至る
恐 山 地	6	ヒノキアスナロ及びブナ等を中心として土的・気候的極相を示す冷温帯森林
早 池 峰 山 周 辺	8	ブナ、ヒノキアスナロ等の天然林とアカエゾマツの南限
白 神 山 地	17	ブナを中心とした冷温帯落葉広葉樹林
葛根田川・玉川源流部	9	下部はブナ極相林、上部はオオシラビソを主とする天然林
栗駒山・栃ヶ森山周 辺	16	日本海型から太平洋型への移行帯における優れたブナ林、山頂付近はミヤマナラ、ハイマツの低木混交林
あ 朝 日 山 地	70	低地のブナ～高地のハイマツまで日本海側多雪山地の植生分布
い い 飯 豊 山 周 辺	29	山地帯は広大なブナ林、高山帯には固有種のイデリンドウをはじめとする170種に及び多様な高山植物
あ ず ま 吾 妻 山 周 辺	12	顕著な亜高山帯針葉樹林とブナ林、シラベの北限
とねがわねりゅうぶ・ひろちがたけしゅうへん 利根川源流部・燧ヶ岳周 辺	20	ブナ、オオシラビソ等の天然林、ミヤマナラ等の多雪地広葉樹低木林
お 奥 会 津	84	オオシラビソ等の亜高山性針葉樹林、ブナ、ミズナラ林等の冷温帯落葉広葉樹林、コナラ、アカシデ等の中間温帯林により構成
さ ぶ る 佐 武 流 山 周 辺	13	日本海側の典型的な豪雪地帯のブナ林、亜高山帯はオオシラビソ、シラベ、キタゴヨウの針葉樹林
お が さ わ ら し ょ 小 笠 原 諸 島	6	亜熱帯植生、山地にシマホルトノキ、オガサワラグワ等の湿性高木林
みなみ 南 アルプス南部光岳	5	ブナ、ミズナラの落葉広葉樹から、ツガ、シラベ、分布の南限であるハイマツ等の垂直分布
ちゅうおう 中央アルプス木曾駒ヶ岳	4	日本海型から太平洋型気候の推移帯で、ヒノキ、シラビソ、コメツガ、ハイマツ等の多種多様な植物からなる森林の垂直分布
また 北アルプス金木戸川・高瀬川源流部	8	山地帯のクロベ、亜高山帯のシラビソ、オオシラビソ、ダケカンバ、高山帯のコケモモ、ハイマツ等の本州内陸型の代表的な植生
は く 白 山	15	ブナ、分布の西限であるハイマツ、オオシラビソ等
お お 大 すぎ 杉 だに 谷	1	スギ、タブ、ブナ、トウヒ等の垂直分布
だ い 大 せん 山	3	日本海型ブナ林地帯、亜高山帯のダイセンキョロボク群落
い し 石 づち 釜 山 けい 系	4	暖温帯性のウラジロガシから亜寒帯性のシラベまでの垂直分布
そ ほ さん かん かつ 大 木 や ま 大 崩 山 周 辺 祖母山・傾山・大崩山周 辺	6	アカガシ等の常緑広葉樹からツガ、ブナ、ヒメコマツ等の垂直分布
い な お だ け しゅう へん 稲 尾 岳 周 辺	1	シイを中心とする暖温帯常緑広葉樹林帯に属し、山頂には一部モミ、ツガが混生
あ や 綾	1	樹齢300年以上のイチイガシやイスノキを有し、標高ごとに多種多様な樹木が分布
や 屋 久 しま 島	15	世界的に稀な高齢ヤクスギ群とヤクシマチンダ等多数の固有種を含むシダ類や豊富な蘚苔類に特徴づけられる植生
い り 西 おもて じま 島	12	スダジイの優占する常緑広葉樹林、ガジュマル等の群落、メヒルギ等のマングローブ林
合 計	495	

資料：林野庁業務資料

注1：平成21(2009)年4月1日現在の数値である。

注2：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

70 レクリエーションの森の整備状況及び利用者数

区 分	箇所数	面積 (千ha)	利用者数(百万人)							代 表 地
			H7年度 (1995)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	
自然休養林	89	104	33	27	28	27	27	32	31	たかおさん、あかさわ、やくしま 高尾山、赤沢、屋久島
自然観察教育林	163	31	17	19	18	17	16	16	16	はこね、かみいざね、かみこうち 箱根、軽井沢、上高地
風景林	492	180	50	48	46	42	45	32	31	ましゅう、あらしやま、みやじま 摩周、嵐山、宮島
森林スポーツ林	61	8	2	2	1	1	1	1	1	かぜのまつばら、おうぎのせん、にしのうら 風の松原、扇の仙、西之浦
野外スポーツ地域	204	49	58	40	32	34	32	34	30	みなみさとう、たんぼら、ななぼ 南威王、玉原、苗場
風致探勝林	110	21	22	21	21	21	18	16	16	そうらんきょう、こまがたけ、ほだか 層雲峡、駒ヶ岳、穂高
合 計	1,119	392	182	157	147	143	139	131	123	

資料：農林水産省「平成20年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」

注1：箇所数及び面積は平成21(2009)年4月1日現在の数値であり、利用者数は平成20(2008)年度の数値である。

注2：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

71 遊々の森等の箇所数及び面積

		H17年度 (2005)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
遊 々 の 森	箇 所 数	107	127	139	152
	面 積 (ha)	4,879	5,398	5,572	6,361
ふ れ あ い の 森	箇 所 数	147	151	143	150
	面 積 (ha)	4,829	4,672	4,570	4,843
木の文化を支える森づくり	箇 所 数	15	18	19	20
	面 積 (ha)	536	548	552	555

資料：林野庁業務資料

注：箇所数、面積は各年度末現在の数値である。

72 国有林野事業の収支

(単位：億円)

(単位：億円)

科 目	収 入							
	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
林 産 物 入	1,878	934	300	207	215	237	232	227
林 野 等 代	497	563	230	198	140	99	78	49
賃 付 料 入	234	124	91	80	76	74	63	62
一般会計 より受入	194	573	790	1,125	1,106	1,734	1,954	1,902
治山勘定 より受入	122	159	140	136	134	-	-	-
地方公共団体 負担金収入	-	-	-	-	-	37	36	35
借 入 金	2,640	2,969	1,023	1,715	1,909	2,086	2,364	2,315
新借入 規 金	2,384	1,943	584	-	-	-	-	-
借 入 換 金	256	1,026	439	1,715	1,909	2,086	2,364	2,315
合 計	5,564	5,322	2,574	3,461	3,580	4,268	4,727	4,589

科 目	支 出							
	H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)
人 件 費	2,580	2,014	1,230	831	760	733	697	646
森 整 備 費	525	443	372	375	399	453	546	619
事 業 費	397	290	204	151	148	147	131	133
利 子 ・ 金 償 還 金	2,160	2,836	679	2,008	2,184	2,354	2,627	2,551
交 付 金 等	107	92	74	68	65	56	65	61
治 山 事 業 費	-	-	-	-	-	459	602	490
合 計	5,769	5,675	2,558	3,434	3,555	4,202	4,668	4,501

資料：林野庁業務資料

注1：合計と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。

注2：平成18(2006)年度の「賃付料等収入」には「前年度剰余金受入」を含む。

注3：平成18(2006)年度から「国有林野事業特別会計法の一部を改正する法律」(平成18年法律第9号)の規定により勘定区分が廃止された。これにより、旧治山勘定のうち国が施行する治山事業を国有林野事業特別会計で経理している。



その他

73 林業等に対する金融機関別の貸付残高

(単位：十億円、%)

		H2年度 (1990)	7 (95)	12 (2000)	16 (04)	17 (05)	18 (06)	19 (07)	20 (08)	対前年増減率 (%)
総計	合計	5,305 (100)	5,690 (100)	4,659 (100)	3,411 (100)	3,132 (100)	3,015 (100)	2,921 (100)	2,815 (100)	▲ 4
	一般金融機関	3,547 (67)	3,847 (68)	2,931 (63)	1,978 (58)	1,849 (59)	1,791 (59)	1,734 (59)	1,667 (59)	▲ 4
	系統金融機関	488 (9)	458 (8)	394 (8)	256 (8)	234 (7)	225 (7)	219 (7)	204 (7)	▲ 7
	政策金融機関	1,270 (24)	1,385 (24)	1,334 (29)	1,177 (35)	1,049 (33)	999 (33)	968 (33)	944 (34)	▲ 2
林業	小計	1,338 (100)	1,369 (100)	1,262 (100)	1,083 (100)	1,036 (100)	991 (100)	975 (100)	961 (100)	▲ 1
	一般金融機関	243 (18)	252 (18)	193 (15)	148 (14)	144 (14)	135 (14)	140 (14)	143 (15)	2
	系統金融機関	155 (12)	119 (9)	93 (7)	51 (5)	48 (5)	45 (5)	43 (4)	40 (4)	▲ 7
	政策金融機関	940 (70)	998 (73)	976 (77)	884 (82)	844 (81)	811 (82)	792 (81)	778 (81)	▲ 2
木材・木製品製造業	小計	3,967 (100)	4,321 (100)	3,396 (100)	2,328 (100)	2,096 (100)	2,024 (100)	1,946 (100)	1,853 (100)	▲ 5
	一般金融機関	3,304 (83)	3,595 (83)	2,738 (81)	1,830 (79)	1,705 (81)	1,656 (82)	1,594 (82)	1,523 (82)	▲ 4
	系統金融機関	333 (8)	339 (8)	301 (9)	205 (9)	186 (9)	180 (9)	176 (9)	164 (9)	▲ 7
	政策金融機関	330 (8)	387 (9)	357 (11)	293 (13)	205 (10)	188 (9)	176 (9)	166 (9)	▲ 6

資料：一般金融機関は「日本銀行統計」（日本銀行調査統計局）、商工組合中央金庫、農林中央金庫は各金庫の資料、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫は各公庫の資料、日本政策投資銀行は同銀行の資料による。

注1：各年度末現在の数値である。

注2：系統金融機関とは、商工組合中央金庫、農林中央金庫である。

注3：政策金融機関とは、日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫、日本政策投資銀行である。

注4：()は、合計、小計に対する割合(%)である。

注5：平成17(2005)年度以降の政策金融機関には、日本政策投資銀行の貸付残高を含まない。

注6：総計と内訳の計が一致しないのは四捨五入による。